平成２４年度第５回ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会　議事次第

日　時：平成２４年１０月２日（火）１３：００～１４：３０
場　所：各コア校（遠隔会議システム利用）
議　題：

１．ＳＰＯＤフォーラム２０１２の総括について
・ＳＰＯＤフォーラム２０１２受講者数について　【資料１－１】
・ＳＰＯＤフォーラム２０１２事前アンケート集計結果　【資料１－２】
・ＳＰＯＤフォーラム２０１２全体アンケート集計結果　【資料１－３】
・ＳＰＯＤフォーラム２０１２プログラム別アンケート集計結果(満足度)【資料１－４】
・ＳＰＯＤフォーラム全体アンケート経年比較　【資料１－５】
・ＳＰＯＤフォーラム２０１２の参加者からの要望等について（案）　【資料１－６】

２．平成２５年度ＳＰＯＤ事業計画について
・平成２５年度ＳＰＯＤ事業計画（案）　【資料２－１】
・ＳＰＯＤフォーラム２０１３の開催について（案）　【資料２－２】
・平成２４年度ＳＰＯＤ事業計画　【参考資料１】

３．平成２４年度ＳＰＯＤ事業経費の執行について
・平成２４年度「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」事業経費の執行状況について　【資料３－１】
・平成２４年度ＳＰＯＤ事業経費執行状況（支出内訳）　【資料３－２】

４．平成２４年度事業の実施状況（中間報告）について
・平成２４年度ＳＰＯＤ事業実施状況一覧　【資料４－１】
・平成２４年度ＳＰＯＤ研修プログラム実施状況一覧　【資料４－２】
・平成２４年度ＳＰＯＤ加盟校内講師派遣プログラム実施状況一覧　【資料４－３】

５．ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会ＦＤ／ＳＤ専門部会について
・平成２４年度ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会ＦＤ専門部会（第１回）議事概要　【資料５－１】
・平成２４年度ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会ＳＤ専門部会（第１回）議事概要　【資料５－２】

６．平成２４年度大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修の開催について
・平成２４年度大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）実施要項　【資料６－１】
・平成２４年度第２回大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）実施要項　【資料６－２】

７．平成２４年度次世代リーダー養成研修（第３回）の開催について

・次世代リーダー養成研修実施要項　【資料７】

８．その他

・ＦＤ・ＳＤセミナーｉｎ東北チラシ　【資料８－１】

・大学間連携共同教育推進事業について　【資料８－２】

・外国人講師の招へいについて　【資料８－３】

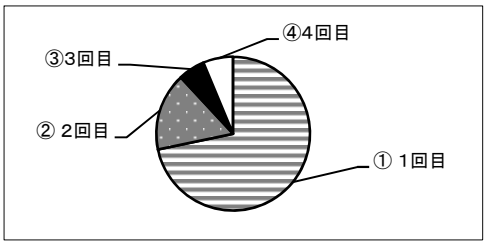
資料1－2

SPODフォーラム2012事前アンケート集計結果

アンケート回答者数：428名（webでの受講申込時に実施）

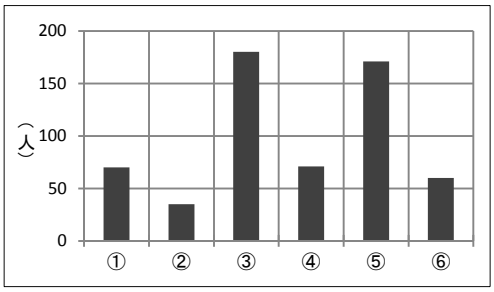
1. SPODフォーラムの参加は何回目ですか？

	度数	割合
① 1回目	307	71.7%
② 2回目	70	16.4%
③ 3回目	24	5.6%
④ 4回目	27	6.3%
計	428	100.0%



2. SPODフォーラムをどこで知りましたか？（複数選択可）

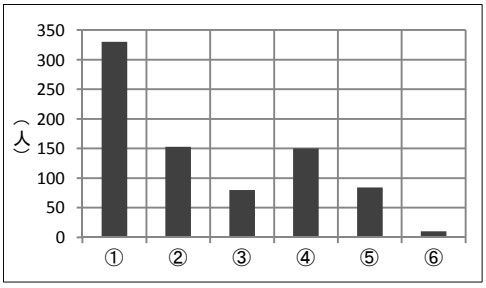
	度数	割合
① SPODホームページ	70	16.4%
② SPODメールマガジン	35	8.2%
③ SPODフォーラムチラシ	180	42.1%
④ SPOD研修プログラムガイド2012	71	16.6%
⑤ SPOD関係者からの案内	171	40.0%
⑥ その他	60	14.0%
アンケート回答者数	428	



その他の記述内容
- 学内（職場）からの案内（28）
- 上司からの案内（5）
- asagao-ML（5）
- 同僚からの紹介（3）
- 自身がSPOD関係者である（2）
- 参加経験者からの紹介（1）
- Q-Links（1）
- 大学教育教育学会での事例紹介（1）
- 土持法一先生からご案内を受けました。（1）
- 法人の職員研修担当者（1）
- 公立大学協会の知り合いから（1）
- 学内教員（1）

3. SPODフォーラムに参加した動機は何ですか？（複数選択可）

	度数	割合
① 自分自身の能力開発のため	330	77.1%
② 組織の課題を解決するヒントを得るため	153	35.7%
③ 組織を超えた人脈づくりのため	80	18.7%
④ FDやSDに関する情報収集のため	150	35.0%
⑤ 上司に参加をすすめられたため	84	19.6%
⑥ その他	10	2.3%
アンケート回答者数	428	



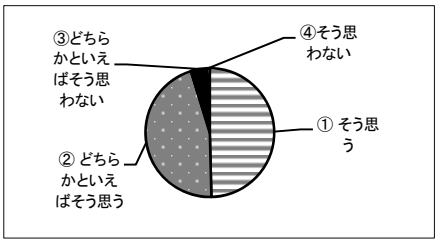
その他の記述内容
- 学内委員(関係係)による参加要請（4）
- 自分が解決したいテーマがあったから（1）
- 橋本メソッドに興味があるため（1）
- 講習を通して新たなものの見方が学べると思ったから。（1）

当日参加者数
　SPOD加盟校から：373名
　SPOD加盟校以外から：123名
合計：496名
アンケート回答者数：274名（フォーラム終了後、web入力にて実施）
回答率：55．2%

1．SPODフォーラムでの研修成果について

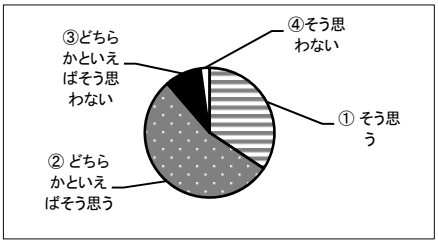
自分に必要な知識やスキルを身につけることができた

	度数	割合
① そう思う	136	49.6%
② どちらかといえばそう思う	125	45.6%
③ どちらかといえばそう思わない	11	4.0%
④ そう思わない	2	0.7%
計	274	100.0%



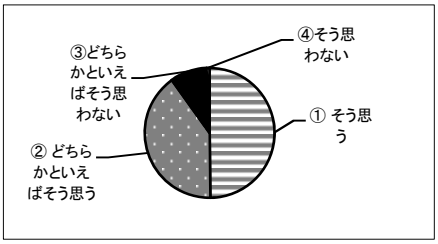
所属組織の問題解決に役立つ情報を入手することができた

	度数	割合
① そう思う	94	34.3%
② どちらかといえばそう思う	149	54.4%
③ どちらかといえばそう思わない	25	9.1%
④ そう思わない	6	2.2%
計	274	100.0%



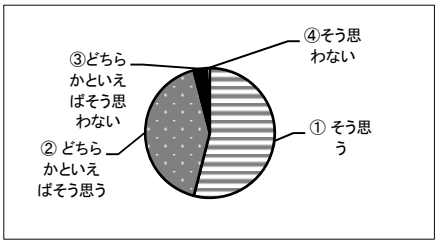
組織を超えた交流を持つことができた

	度数	割合
① そう思う	136	49.8%
② どちらかといえばそう思う	110	40.3%
③ どちらかといえばそう思わない	25	9.2%
④ そう思わない	2	0.7%
計	273	100.0%



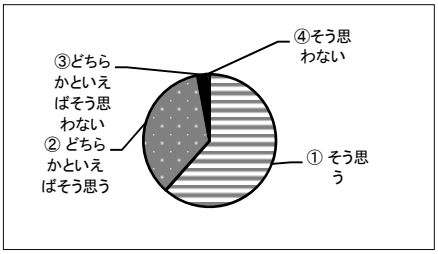
フォーラムで学んだことをすぐに職場で実践したい

	度数	割合
① そう思う	148	54.0%
② どちらかといえばそう思う	115	42.0%
③ どちらかといえばそう思わない	9	3.3%
④ そう思わない	2	0.7%
計	274	100.0%



SPODフォーラムは全体的に満足できる内容であった

	度数	割合
① そう思う	168	61.5%
② どちらかといえばそう思う	97	35.5%
③ どちらかといえばそう思わない	6	2.2%
④ そう思わない	2	0.7%
計	273	100.0%



2. 感想、ご意見、ご要望等 （別紙参照）

3. 参加者ご自身について

所属先

	度数	割合
① 4年制大学	240	87.6%
② 短期大学	25	9.1%
③ 高等専門学校	5	1.8%
④ その他	4	1.5%
計	274	100.0%

その他の記述内容
・ 法人本部(1)

所属先の設置者

	度数	割合
① 国（国立大学法人）	109	40.1%
② 地方自治体（公立大学法人を含む）	27	9.9%
③ 学校法人	133	48.9%
④ その他	3	1.1%
計	272	100.0%

その他の記述内容
・ 独立行政法人(1)

所属先の所在地

	度数	割合
① 四国	185	67.5%
② 東北	3	1.1%
③ 関東	22	8.0%
④ 中部	9	3.3%
⑤ 近畿	25	9.1%
⑥ 中国	16	5.8%
⑦ 九州・沖縄	13	4.7%
⑧ 北海道	1	0.4%
計	274	100.0%

職種

	度数	割合
① 教員	91	33.3%
② 職員	178	65.2%
③ 学生	2	0.7%
④ その他	2	0.7%
計	273	100.0%

その他の記述内容

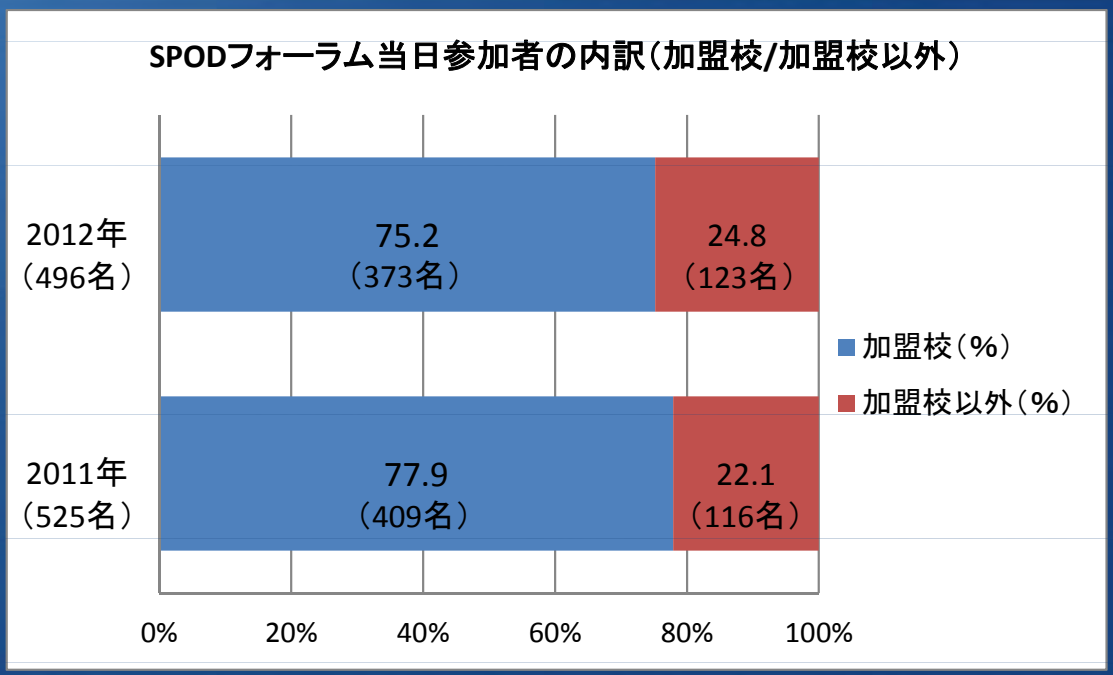
あなたはFDまたはSDの実施担当者ですか？

	度数	割合
① FDの実施担当者	57	21.0%
② SDの実施担当者	11	4.0%
③ FDとSD両方の実施担当者	13	4.8%
④ FDやSDの実施担当者ではない	191	70.2%
計	272	100.0%

SPODフォーラム全体アンケート経年比較（2009年～2012年）

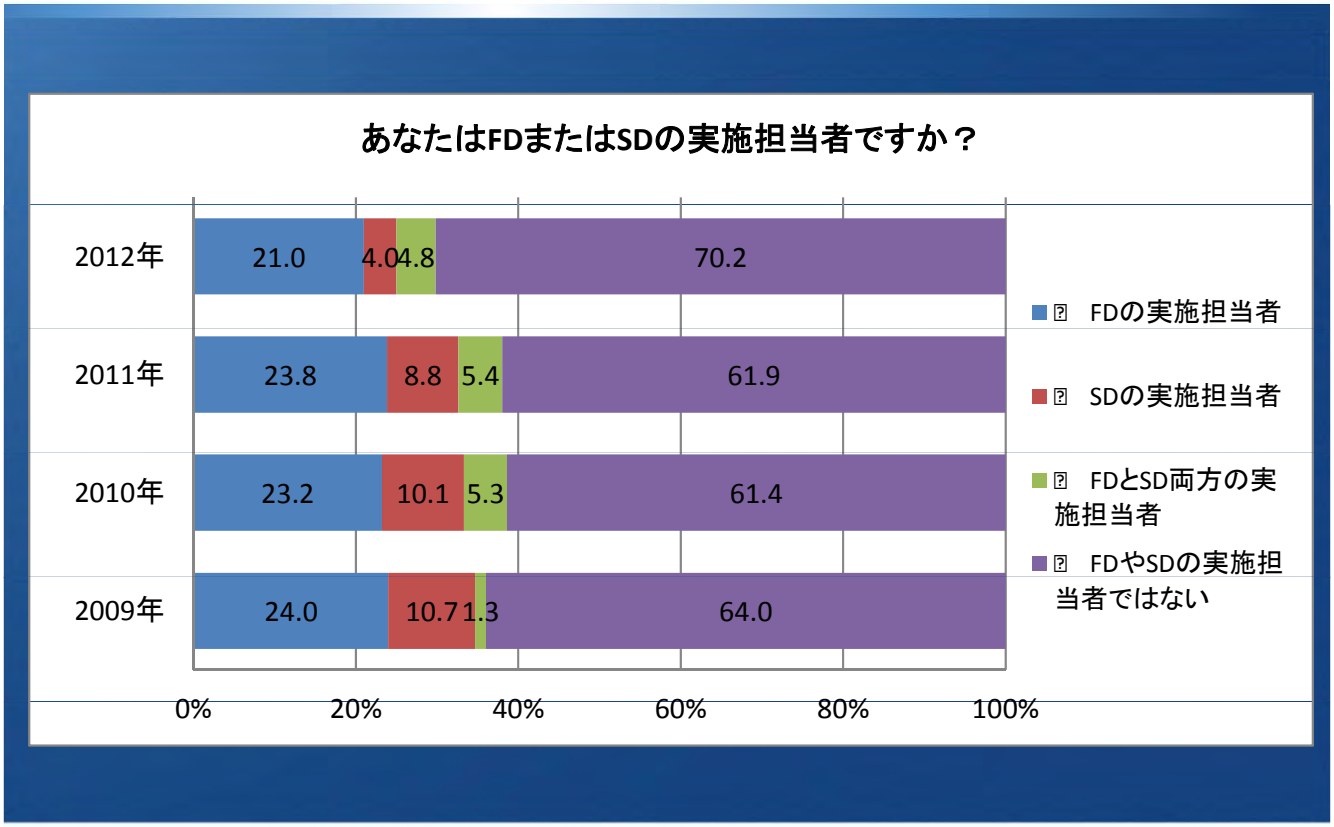
文責：山田剛史
（愛媛大学 教育企画室）

◆参加者数は450～500名の間で推移
◆加盟校以外からの参加者は全体の2割強で100名強
◆自主運営（参加費徴収@7000）の影響は現時点ではみられない

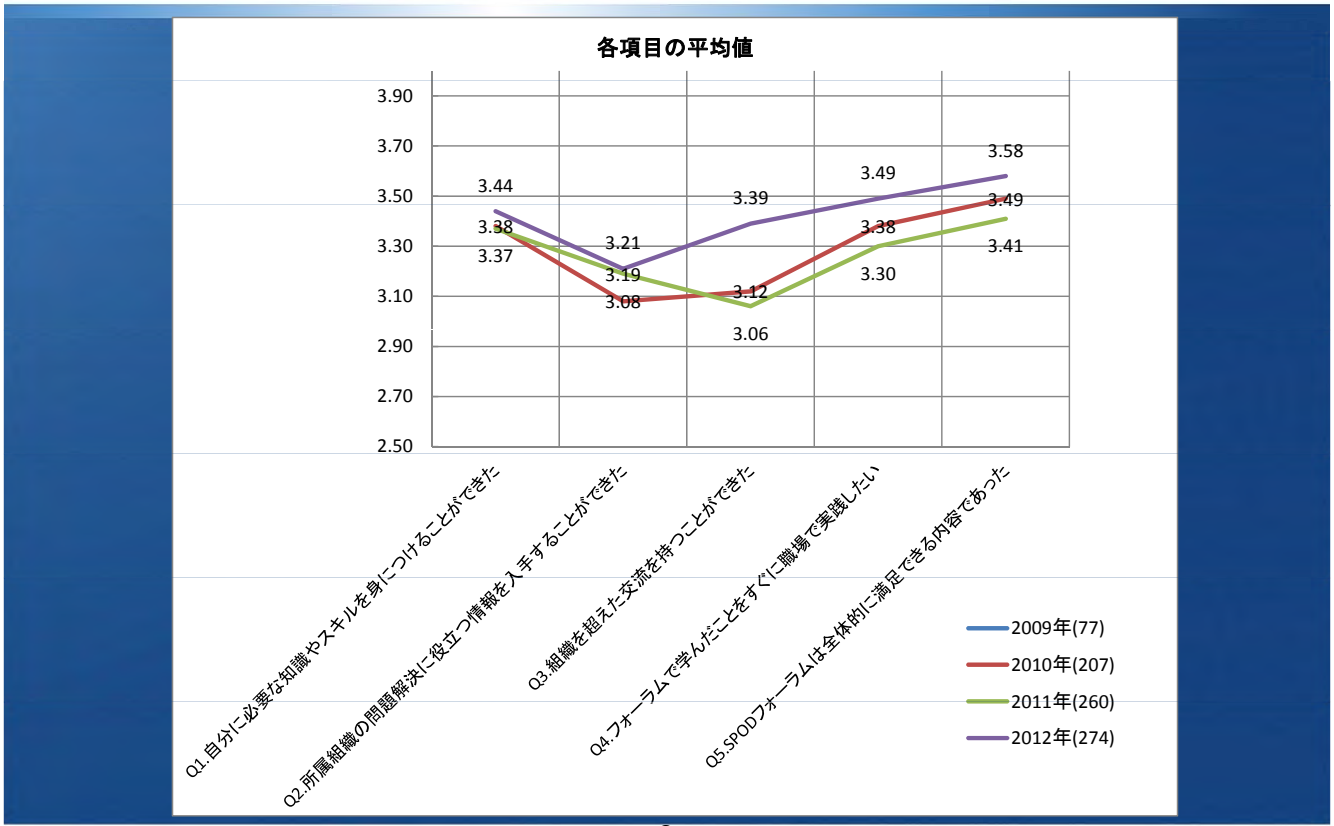


*ただし，2011年については，加盟校参加者の内，58名は遠隔講義受講者
*2010年の参加者は「469名」

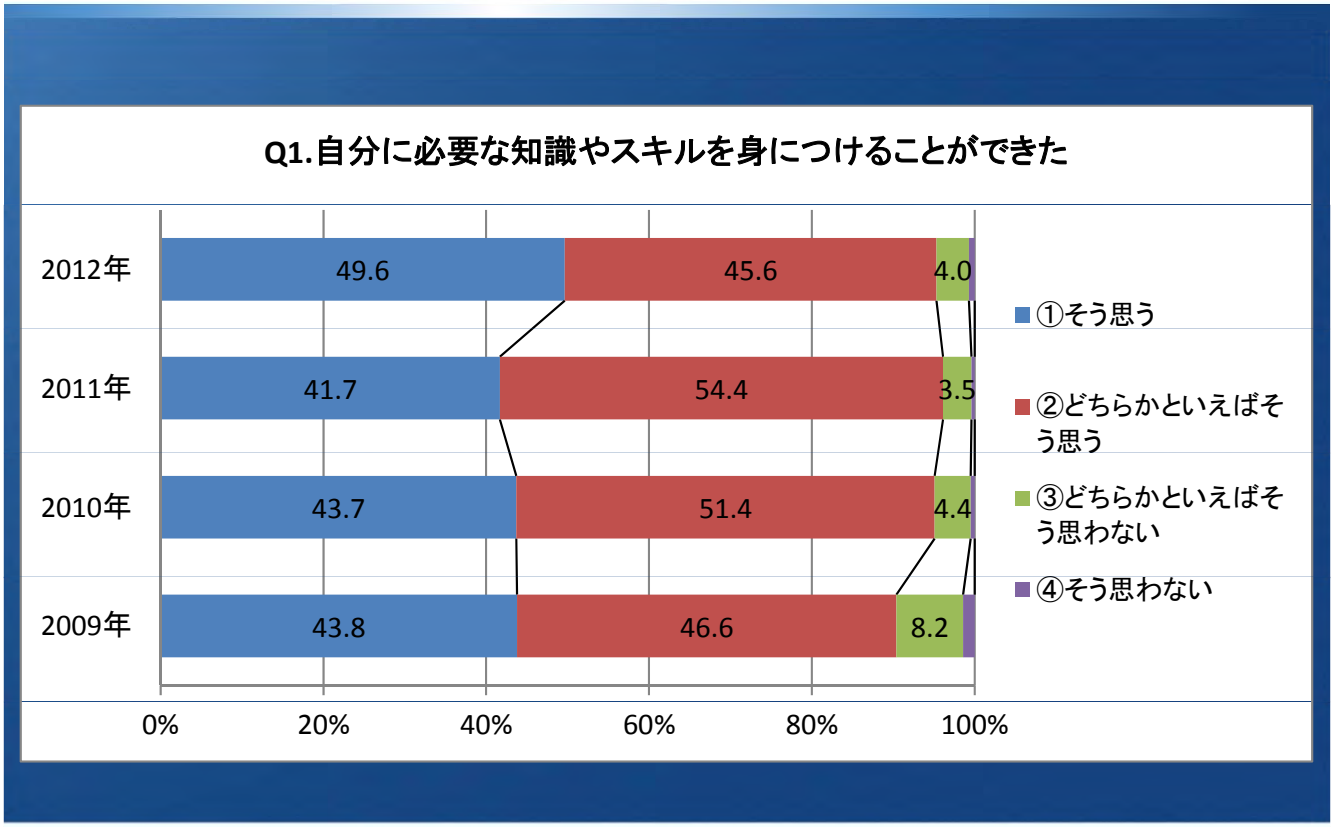
◆参加者の約3割はFD／SD担当者
◆参加者の約7割は非担当者で個人レベルの情報収集・スキルアップ
◆玄人向けのプログラムと初心者向けのプログラムのバランスを配慮



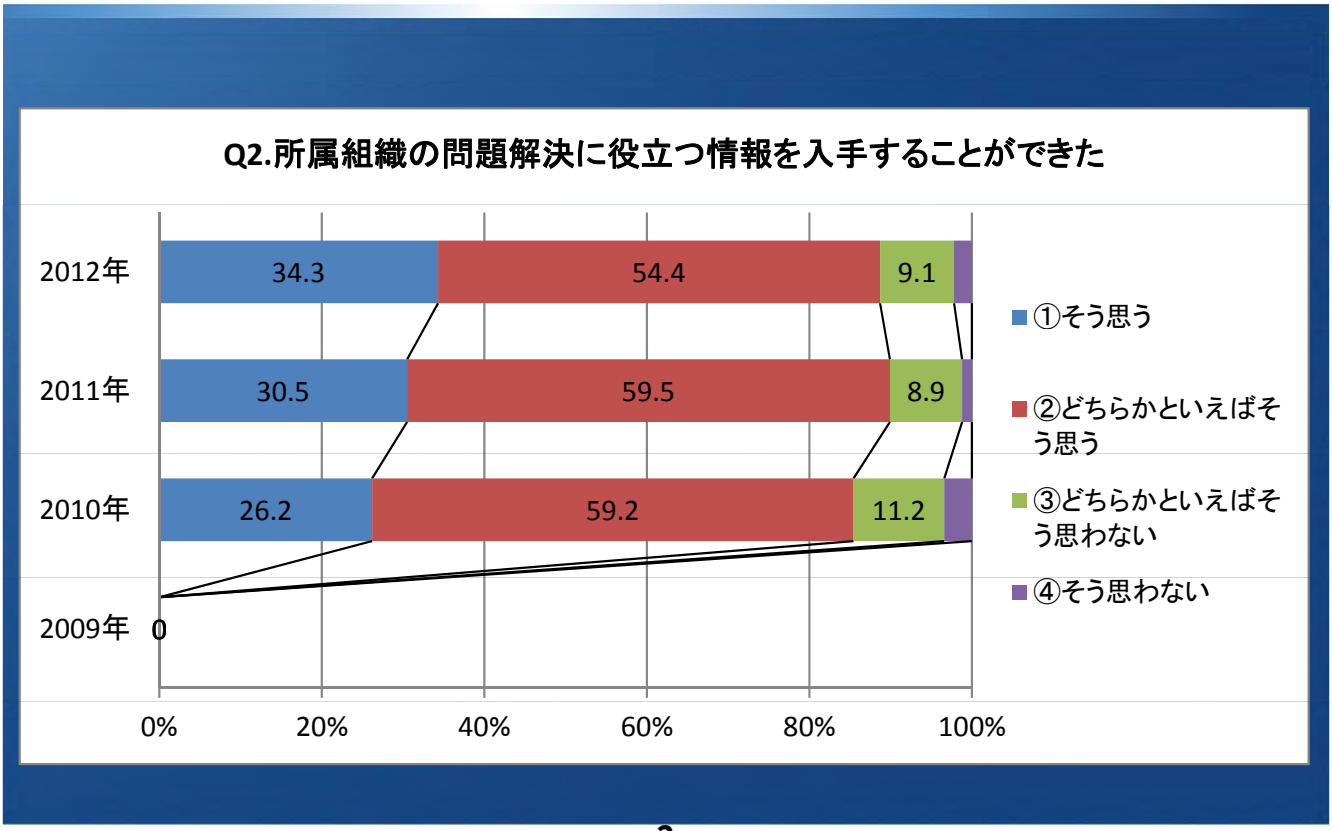
各項目の平均値



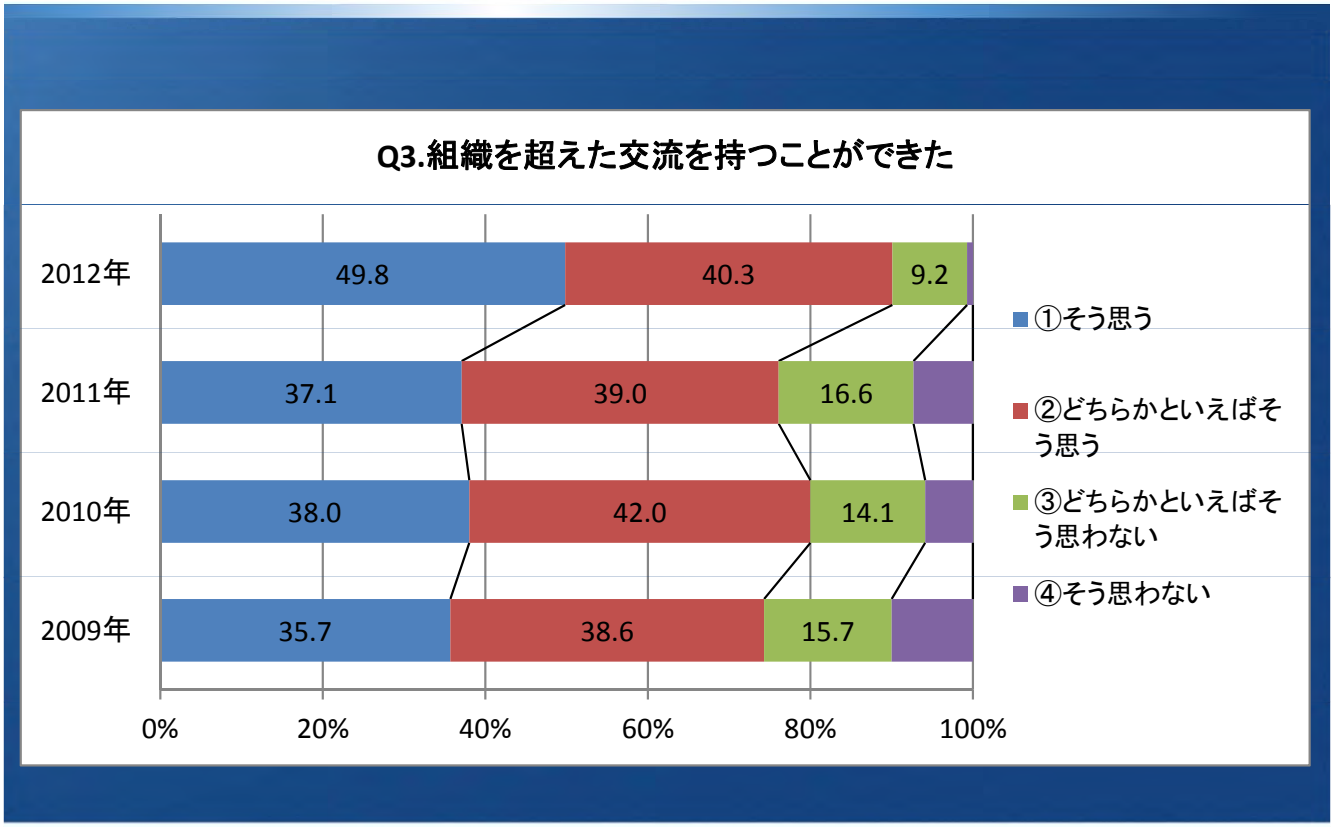
◆知識・スキルの身につき度は概ね9割強
◆2012年は特に「そう思う」の割合が8ポイントアップ（2011年比較）
◆ただし，「そう思う」はずっと4割台なので，さらにブラッシュアップを



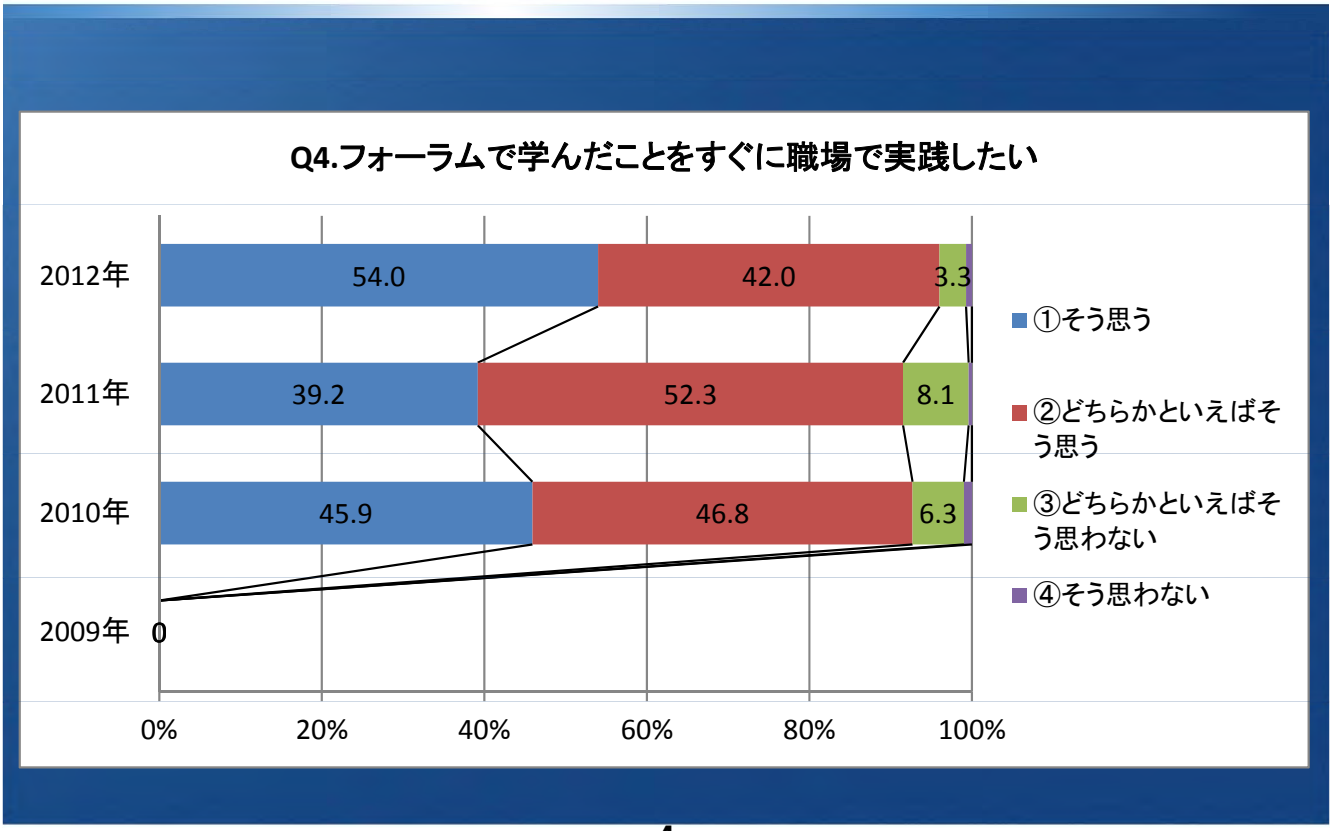
◆年を追うごとに「そう思う」の割合は増加（ただし，3割台）
◆一方，参加者が「問題解決」の対象となる「問題」が明確かは不明



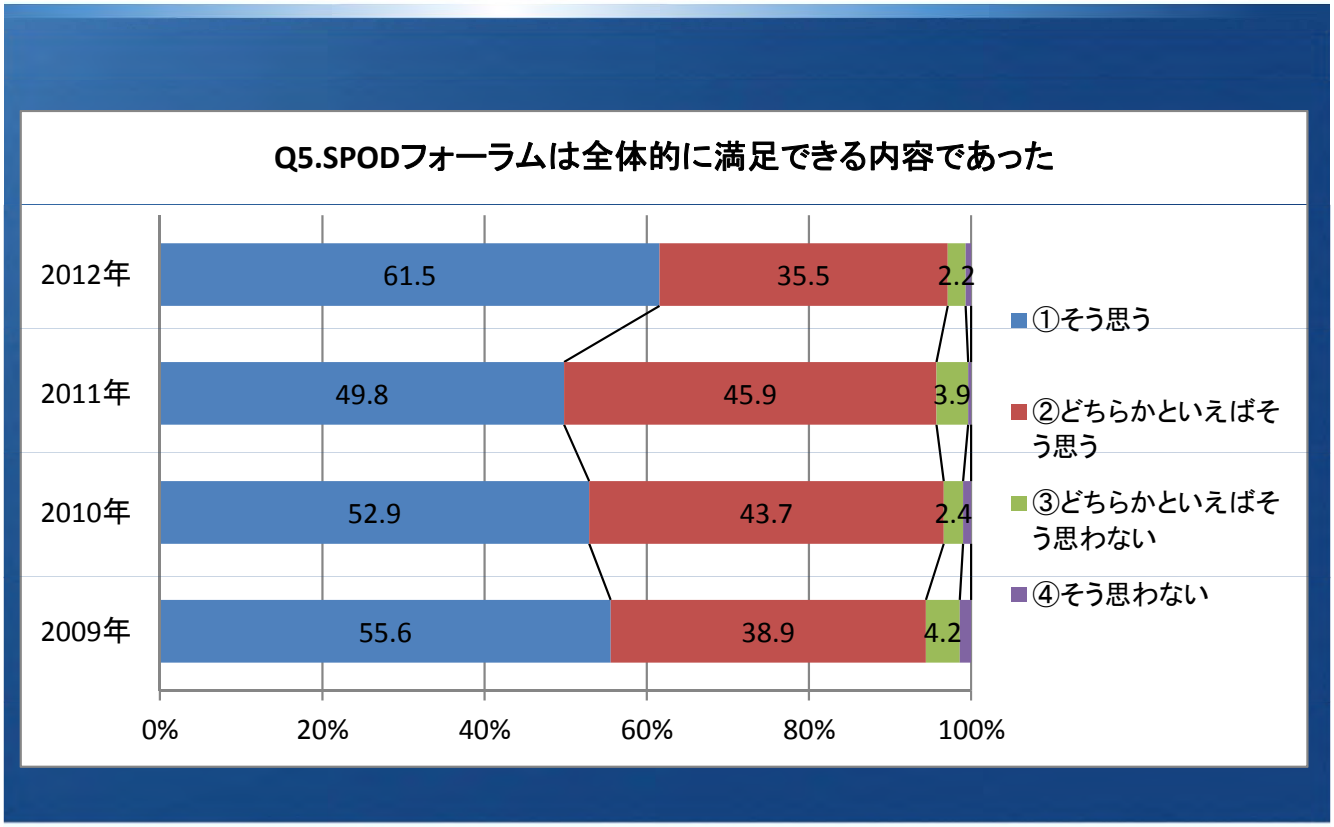
◆2012年，大幅にポイントアップ（2011年より12ポイント以上）
◆ランチタイムを活かしたプログラム（テーマ別ランチョンセミナー）の影響か



◆2012年は「そう思う」の割合が5割強（2011年より15ポイントアップ）
◆フォーラムを通じて動機付けを高めることに成功
◆参加者の問題意識，動機付けが高くなってきていることも考えられる



◆2012年の「そう思う」割合は過去最高の6割強（2011年より12ポイントアップ）
◆一貫して高い満足度を維持・向上できている
◆一方，それらが何によるもので，その後どのようにつながっているかも重要



今後の課題

- ✓ 今回は全体の結果のみの単純集計
- ✓ セミナー毎の結果分析を踏まえて，今後のプログラムの精選やブラッシュアップ，担当者のスキルアップなどの課題を抽出する必要あり
- ✓ 教員や職員，学校種別，FD/SD担当の有無などの差異にも着目して分析するとともに，セミナー間の関連付けや体系性の確保などの検討も必要か
- ✓ 「SPOD調査・研究プロジェクト」で引き続き検討

以上

ＳＰＯＤフォーラム２０１２の参加者からの要望等について（案）

■他大学との交流について

・初日の最初に全員が一堂に会するプログラムを開催し，共通の話題を提供し参加者が知り合いになる機会を設けてみてはいかがか。

・プログラム参加者の交流の場を昼食時などにできないか。

・研修プログラムも非常に多く，参加者としては有意義であるが，研修時間以外に他大学担当者と話し合う時間の設定がむずかしい。

・大学の実情の問題点を解決するための情報交換が重要だと思う。最終的な解決は，教員各位が実施するしかないので，そのためのアイデアがほしい。また，他教員の実践例を参考にして，各大学の実情に合わせての授業改革への足がかりになることを望む。

・所々にティータイム交流会を設けてほしい

・参加者の皆様の様々な取り組みが一同に確認でき，気軽に意見交換ができるようなポスター発表のような時間があっても有意義ではないかと思う。

対応（案）

・ＳＰＯＤフォーラムの目的の一つでもある相互交流を実現するため，今回はランチョンセミナーで交流の場を設けたが，次回以降，ポスターセッションや休憩時の交流プログラムの検討など，交流を積極的に促すような仕掛け（掲示・案内も含めて）を検討する。

■実施会場について

・開催校を順次変更して欲しい。

・今後も他県開催を継続してほしい。

・今回は愛媛大学以外で初の開催ということでしたが,岐阜県から参加させていただくには徳島大学のほうがアクセスがよくて便利に感じました。

・市街地に近く,交通の便利なところで開催していただければ,どの県で開催していただいても結構です。

・関西圏から参加させていただいた為,徳島までの距離が長く移動が大変であった。

・今回は身近な大学での開催だったので研修に参加しやすくよかった。

・関西から着ましたが,徳島は意外と近く,交通が楽でした。

・可能であれば，四国４県で持ち回りで実施してほしい。

・会場は,四国の玄関口,香川県でも開催していただきたい。

・四国以外の場所でも開催してほしい。

・会場は，四国外からの参加者を考慮し，比較的アクセスがよい場所がいいと思う。

・今年初めて会場を徳島大学に移して開催された旨を聞いた。他の時期に様々なプログラムが色々な展開されているが，可能であればフォーラムも会場は持ち回りのようなスタイルでも良いかと考える。

対応（案）
・来年度は愛媛に一度戻して開催することになるが，その後については他県開催について積極的に検討する。

■広報活動について
・四国内及び SPOD 加盟校であっても，SPOD を知らない教職員がいると思われる。教職員に周知の研修であることを知らしめることができたら，もっと積極的に皆が参加されると思う。
・いい取り組みをされていて次年度も是非参加したい。ただ，学内での周知が上手くされていないようで，SPODの取り組みについて，今回たまたま知った。学内の話ではあるが，情報提供という観点から問題があるように感じた。また，講座開講時，徳島大学の学務系の職員が仕事として手伝っていたようだが，ボランティアで色んな大学職員を募った方がSDにもなるように思った。
・カラー刷り案内（プログラム）を郵送していただくのはとてもありがたいことだが，この情報はHPからもダウンロードできるので，運営経費節約の観点からも廃止を検討されては如何か。
・本学からは職員の参加がなく,残念。職員の参加を促すようなアピールをして欲しい。
・スケジュールが空いていないと参加できないため，なるべく早く日程等公表してほしい。

対応（案）
・ＳＰＯＤ内加盟校県内会議等を通じた参加の案内に加え，各校での全学メールシステム等を使った周知をお願いするなど，ＳＰＯＤ内加盟校における周知を図る。プログラムの郵送については，事前アンケート結果においても郵送したチラシがフォーラムの周知に大きく貢献している（４２％）こともあり，今後も継続する。フォーラムに関するボランティア職員の導入等については，周辺大学への案内を行うなど積極的に検討する。

■プログラム内容の事前周知について
・研修の具体的内容をもう少しわかりやすく記載していただきたい。
・初日に配られたプログラムを事前に送付いただきたかったこと。
・できれば，講義概要等について事前に配布していただけると助かる。
・講座の対象者を今以上に明確に設定すること。

対応（案）
・プログラム内容については，申込みＨＰ上にシラバスを掲載しているが，ご覧いただけていないようであるため，分かりやすくなるよう，申込みフォームの工夫を行う。

■開催時期／期間について

・初日を午後からにしていただけると，1 泊減って参加しやすいかと思う。

・夏休み中は参加しやすいため，来年度も同じような時期が良いと思う。

・3日間の参加は業務の兼ね合いもありなかなか厳しい状況にある。

・今のとおり8月23日頃（お盆ではなく，8月最終週ではない時期）が参加しやすい。

・もう少し，涼しい時期が良い。

・金曜日終了にしていただけると，研修で学ぶだけではなく四国ならではの歴史や風俗に触れる機会を得られるのではないか。

・日程について，土・日を含んでいただけると助かります。

・1度に3日間全ての研修を受講する事は困難なので，年に2回実施するなどあれば，各大学でも多くの受講者が参加できるのではないでしょうか（夏1回,秋1回など

・同じ内容で年2回開催し，できるだけ多くの教職員が受講できるようにしてほしい

対応（案）

【開催日程】日程については，教職員が最も参加しやすい夏季休業中で実施する。具体的日程については，会場等の都合もあり，全ての要望を反映することが難しいため，早めに日程を決定し周知することで対応する。この 2 年間は，平日のみの開催においても参加者数等安定しているため，来年度も引き続き平日開催とする。

【開催期間】

今年度同様、年 1 回 3 日間ないし 4 日間での開催とする。

■プログラム構成について

・多くの講座が開講され，魅力的なものが多く，受講したい講座がかぶってしまった。

・一部，受講したい講義が重なっていたため，選択の必要があった点。

・プログラムの内容が重なっているので，整理していただきたい。入門編と発展編などに分けるのもよいと思う。

・新任教員対象ならば，プログラムの内容の定番化を進めることがよいと思うが，常連が多くなると，プログラムの多様化が必要になってくる。定番と多様化の両立が求められると思うが，どうやってやるのかということを考えながら参加した。

・講義形式のものもゆっくり聞いてみたかった。

・プログラムに関して目新しさを追求していくと，〇〇のようになると思うので，受講希望が多かったプログラムは,翌年か翌々年にはまた開講してほしい。

・同時刻に開催されているプログラム数が多いように感じた。

対応（案）

・受講できなかった方のために，人気のプログラムについては，最低 2 年間は同じプログラムを開講することにしているので，来年度受講いただくよう参加者に周知する。また，プログラムの配置については，バランスを考えて行う。

【プログラムの進行・運営】

・2時間の講座で，30分延長したものがあった。時間内に収めて頂きたい。

・時間通り終了しない，時間不足で内容をはしょったプログラムや，昼食が慌ただしかったなど，全体的にいっぱいいっぱいな印象を受けた。もう少しゆとりを持って構成できないか。

・1コマの授業だと，考える時間より聞く時間が多くなり，物足りない感じがした。

・セミナー一時間について，1時間半では短いように感じた。2時間あればより深まると思う。

・グループワークを行う講座では90分枠では時間が足りない印象があった。プログラム上120分枠とすることは難しいかと思うので，事前に受講者にスライド資料や参考資料を提示するなどして(参加登録時にID・PWを配付してweb配信)，“時間外学習”をしておいてもらい，当日の説明・解説は要点だけに絞ってグループワークの時間を確保するようにしてはいかがか。

・会場によっては，自由に着席したところ，職員の方ばかりで教育上の問題が話せなかったりしたので，グルーピングの仕方に工夫が必要だと思った。

・グループワーク主体のプログラムが多く内容が濃い一方，時間が足りないことが多かった。テーマを絞って1つの内容をじっくり扱うプログラムがあってもよいのではないか。

・最後までたどり着かず残念だった。講義は大変分かりやすかったので，ぜひ時間を長く調整するかプログラムを段階に分けて設定すればと思う。

・グループを組む相手が非常に消極的（例えば，職務命令でしょうがなく来ました等言っている人がいた）だった場合に，あまり実のあるグループワークができなかったりして残念だった。

・偶然私が参加したセッションは，机がグループの配置になっているのにディスカッションの機会が少ない講義形式だったことが残念だった。

・セッション毎のインターバルをもう少し短く設定し，その分，朝一番のセッションの開始時刻を少し遅らせるのが良いと思う。

対応（案）

・ＳＰＯＤフォーラムはグループワーク等を含んだ実践的なプログラムであるという特質を考え，実施時間については余裕のあるプログラム時間を検討する。また，担当講師にも余裕を持ったプログラム構成，事前課題の設定やグルーピングの工夫について検討をお願いする。なお，休憩時間の短縮については，次のプログラムまでの準備時間を考慮する必要があるため，開催校を中心に検討する。

【プログラムの質保証（講師のスキル）】
・講師の説明については上手い下手があり，講師にも訓練が必要だなと思った。
・（私だけかもしれませんが）受講プログラムの中で，講師の方から人種差別的ともとれるような発言があったように感じ少し残念な気持ちとなりました。今後はそのようなことが無いことを願っております。
・各分野に係る継続的な講師養成

対応（案）
・講師については，経験豊富な講師にお願いしているが，上記のご意見を講師に周知することにより，一層の質保証を図る。また，引き続き新たな研修講師の育成も同時に行っていく。

【プログラム内容】
・マニュアル講義ではなく，即実践のため，より具体事例を含んだ講義内容があれば嬉しい。
・これまで複数回受けた印象でしかないが，講義によって，役に立つものとそうでないものとの差が明確にあるような気がする。研修のための研修になっているものや現場の課題から離れているものもあるのではないか。〇〇講師のように，実際にご自分が工夫され上手くいっている方の話が説得力があり，有効であるように感じる。
・当該コマは講義形式だったが，情報内容が他の説明会で得られる内容であったため，満足度は低くなった。担当講師の考えや，参加者の考えを共有できる内容であれば満足度は高かったと思われる。
・事例研究としては大変に参考となったが，そこから理論的・体系的な説明，特に一般的な授業にも適応できるような理論が聞きたかった。
・理系専門課程用のプログラムの充実。共通教育，文型と理系専門課程は，専門職で活躍できる人材を育てるという違った面がある。理系の場合，アクティブ・ラーニングをするために内容を削るという事を躊躇する。そういう,具体的な問題点に対応できるプログラムを用意していただきたい。
・授業において特徴的な事例の相互交流が重要だと思う。
・昼食を摂りながらの意見交換会が今回入っていたが，効果が上がるミーティングとなったのだろうか。教務部門のテーマでも行ってほしい。

対応（案）
・上記の要望を踏まえた留意事項等を作成し，プログラムを実施する講師の方々に周知し，可能な限り要望に沿えるような方法・内容にしていく。

■シンポジウムについて

・シンポジウムは，登壇者一人ひとりの時間が短く，全体的に急ぎ足の雰囲気であった。

・もう少し質疑応答に時間があったほうがよかった気がする。

・シンポジウムが何を意図しているのかわかり難いものだった。誰にどういう影響を与えてどうさせたいのか。意識改革を目的とする集まりだと思うので，その辺りの筋が明確な方が良かったのではないか。

・もう少し長めに質疑応答の時間があればよかった。学生の主体的な教育を研究されている最先端の方と職員，教員との討議をもっと聞いてみたかった。

・アクティブ・ラーニングについて，教員・職員が共に考える場だったと思うが，パネリストの教員からの発言は職員に向けての視座が欠けていた。教室の中で完結する授業手法の1つであるだけならば，共に考える必要はないと思う。

・短い討論時間を有意義な議論に使えるように，司会者は準備し，コントロールしてほしい。

対応（案）

・シンポジウムについては，ＥＱトークを新たに取り入れるなど，毎年改善の努力を行っているが，引き続き内容・進行等を見直し，皆さまに満足いただけるより良いシンポジウムとなるよう検討を行う。また，教員と職員が一体となって考えることができるシンポジウムとなるよう配慮する。

■運営上の要望について

・夏場なので会場の休憩場所は飲食の場所など（今回はお茶などあったそうだが，場所が良く分からなかった）あったらいい。

・会場が暑すぎた（節電は理解できるが，体がついていかない／片頭痛持ちには辛い）。

・駐車場がある会場がいい。

・食堂が混んでいたので，食券をあらかじめ発注していたら良かったのでは。

・直前で受講キャンセル等が発生する可能性があるので，Web 上で受講可能数がリアルタイムで更新されるような申し込みシステムを使うことができればいいと思う。

・「参加者名簿」について，役職とどの研修を受けるかも記載があればありがたい。私はあいうえお順より大学の北から順の方が見やすい。

・会場近くの飲食店を紹介して欲しい。短い時間で効率よく動きたい。

・SPOD 参加中に得られた知見をその日のうちにその場でまとめるためのブース（パソコンを使える環境）の設置。適宜新しい考えやひらめき等を，自分なりにまとめる時間と場所があると助かる。

・会場周辺の食事場所や駐車場等，地理に明るくない参加者が対応できるような情報提供・配慮をお願いしたい。

対応（案）

・次年度の運営にあたっては，いただいたご意見を可能な限り反映できるよう検討する。ただし，開催校の都合により，反映できない要望もあるので，その点についてはあらかじめ参加者に事前周知を行い，ご理解いただくようにする。

■その他

・何となく，四国の国立大学法人四つが中心になりすぎている気がした。今後は，公立，私立大の教職員が積極的に参加できる仕組みができあがるといいなと思った。

・参加者の研修実績（内容・回数）等を，例えば，ポイント評価し，ポイント等により表彰などすると励みにもなり，参加促進にも繋がっていくのでは。

・このアンケートメールに，参加者の「アクションプラン」を書いてもらい，それをご本人にだけ1ヶ月後や半年後に自動送付することができれば，フォーラム参加の影響を少しでも長く感じてもらえると思います。

・現在，フォーラム以外は四国の加盟大学内で事業を展開されているが，個人会員制度を設けるなどして，いつでも参加できるようなシステムがあれば嬉しいです。

・SPOD 関係者で講座が満席になるのが改善されたら嬉しい。

・アンケートの2つ目の設問【所属組織の問題解決に役立つか】に対する回答は，（わからない）となる。選択肢には（わからない）や（どちらともいえない）という選択肢を追加すべき。むりやりいずれかに回答させようとするのはよくないと思う。

対応（案）

・ご提案いただいた案について，実施可能であるものについては積極的に取り入れていく。ＳＰＯＤは，四国地区の大学等加盟校からの拠出金によって運営を行っており，個人会員制度の導入は考えていない。加盟校の教職員を優先としてプログラム募集を行うことにはなるが，他のプログラムについては一般に開放されているものも多くあるので，それらの告知を行い，広く参加を呼び掛けるなど工夫をする。

平成２５年度ＳＰＯＤ事業計画（案）

※赤字：平成２４年度事業からの追加・変更事項（日程の変更等，軽微なものは除く）

１．ＦＤ事業　※実施内容の詳細及び研修実施時期は，「研修プログラムガイド２０１３」参照

（１）研修実施事業

・新規採用教員研修（年５回）
　開催場所：各コア校　※愛媛大学は２回実施

・ＦＤファシリテーター（ＦＤ担当者）養成研修（年１回）　開催場所：徳島大学

・ファカルティー・ディベロッパー（FDer）養成研修（年１回）
　開催場所：京都市内
　共催：大学コンソーシアム京都，日本高等教育開発協会（予定）
　※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）の事業として実施

・ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ（年３回）
　①全加盟校教員対象（年２回）
　　開催場所：東四国－香川大学または徳島大学　　西四国－愛媛大学
　　共催：大学評価・学位授与機構（予定）
　②高専対象（年１回）
　　開催場所：愛媛大学　　共催：大学評価・学位授与機構（予定）

・ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ（年１回）
　　開催場所：愛媛大学または徳島大学
　　共催：大学評価・学位授与機構（予定）

・アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ（年１回）
　　開催場所：愛媛大学
　　共催：大学評価・学位授与機構（予定）

（２）研究開発事業

・調査研究プロジェクト事業
　　①高等教育教授能力証明プログラム検討ワーキンググループ
　　②連携効果検証ワーキンググループ
　　③目指すべき大学教員像検討ワーキンググループ

・各種ＦＤプログラムの開発・実施　開催場所：各加盟校
　　研修プログラムガイド２０１３掲載したプログラム，派遣事業プログラム

２．ＳＤ事業　※実施内容の詳細及び研修実施時期は，「研修プログラムガイド２０１３」参照

・講師養成プログラム（年２回）　開催場所：愛媛大学１回，コア校１回
　平成２５年６月中旬・平成２６年２月中旬
　※主担当校：ＳＰＯＤ事務局　協力校：愛媛大学

・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（年３回）　開催場所：愛媛大学

レベルⅠ　１回　１０中旬

レベルⅡ　１回　９月中旬

レベルⅢ　１回　７月上旬

※主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：愛媛大学

・学務系職員養成プログラム（年２回）　開催場所：愛媛大学

レベルⅠ　１回　７月中旬

レベルⅡ　１回　８月下旬　※ＳＰＯＤフォーラム２０１３において開催

※主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：愛媛大学

・次世代リーダー養成プログラム（年８回）

平成２４年度受講者対象　４回，平成２５年度受講者対象　４回

開催場所：徳島県，愛媛県，高知県，関西

第１回　５月下旬　愛媛

第２回　７月下旬　徳島

第３回　１１月上旬　関西

第４回　平成２６年１月下旬　高知

※主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：高知大学

・高等教育トップリーダーセミナー（年１回）　　開催場所：（徳島大学）

ＳＰＯＤフォーラム２０１３で実施

※主担当：ＳＰＯＤ事務局　協力校：香川大学

・スタッフ・ポートフォリオの開発

ワークショップをＳＰＯＤフォーラム２０１３で実施

・各種ＳＤプログラムの開発・実施　開催場所：各加盟校

研修プログラムガイド２０１３掲載したプログラム，派遣事業プログラム

３．ＳＰＯＤフォーラム

・平成２５年８月２０日（火）～２３日（金）※３日間開催の可能性有り

開催場所：愛媛大学

全体テーマ「ポートフォリオ（TP, SP, LP）による教育の質向上（仮）」

※教職員能力開発拠点（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）と共催

４．ＳＰＯＤ共通事業

・ＳＰＯＤ内講師派遣（加盟校単位　各１回　計２６回）

ただし，短期大学及び短期大学部が併設されている４年制大学については，あわせて１回とする。詳細は，研修プログラムガイド２０１３に掲載

開催場所：各加盟校

・遠隔専用セミナー「ＳＰＯＤチャンネル」の配信

５．ＳＰＯＤ運営

①総会（年１回）　平成２６年３月頃

②ネットワークコア運営協議会（毎月）

③事業評価委員会（年１回）　平成２６年３月頃

④監査（年１回）　平成２６年３月頃

⑤その他

ⅰ．ＦＤ／ＳＤ分科会

・ＦＤ分科会（年１回）　総会と同日開催（平成２６年３月頃）

・ＳＤ分科会（年１回）　総会と同日開催（平成２６年３月頃）

ⅱ．ＳＰＯＤ加盟校県内会議

・徳島県内（随時）

・香川県内（随時）

・愛媛県内（随時）

・高知県内（随時）

ＳＰＯＤフォーラム２０１３の開催について（案）

（趣旨）
「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ネットワーク略称＝ＳＰＯＤ）」の目玉企画として、ＳＰＯＤの実施する研修プログラム等を集中的に提供する。

（主催）
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

（日時）
平成２５年８月２０日（火）～８月２３日（金）※３日間開催の可能性有り

（会場）
愛媛大学城北キャンパス（松山市文京町３番）

（参加対象者）
１．「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク」加盟３３校の教職員
２．１以外でＦＤ・ＳＤに興味のある方
※ＳＰＯＤ加盟校の参加者を優先する。

（全体テーマ）
「ポートフォリオ（TP，SP，LP）による教育の質向上（仮）」

（内容）
全体テーマに基づき，シンポジウム，ミニ作成ＷＳ，ポスターセッション（ポートフォリオ披露）を行うとともに，あらゆる立場の教職員が、その場でスキルアップにつながるような実践的なプログラムを提供する。

（事務担当）
ＳＰＯＤ事務局（愛媛大学教育企画課）

資料4－1

平成24年度SPOD事業実施状況一覧

（中間報告）

平成24年9月28日現在

事業名	開催日時	開催場所	参加者数		備考
1. FD事業					
①新規採用教員研修					
・教育力開発基礎プログラム	平成24年8月31日～9月1日	徳島大学	11	済	
・よりよい授業のためのFDワークショップ	平成24年9月20日～21日	四国電力株式会社総合研修所	12	済	
・第18回　授業デザインワークショップ（愛媛大学）	平成24年7月9日～10日	久万高原ふるさと村	23	済	
・第19回　授業デザインワークショップ（愛媛大学）	平成24年8月31日～9月1日	大洲青年の家	13	済	
・新任教員FDワークショップ	平成24年9月3日～4日	高知大学	13	済	
②FDファシリテーター（FD担当者）養成研修	平成24年6月9日～10日	徳島大学	27	済	
③ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ					
・東四国対象（徳島県、香川県）	平成25年3月中	徳島大学			
・西四国対象（愛媛県、高知県）	平成24年9月25日～26日	愛媛大学	7	済	
・高専対象	平成24年12月21日～23日	愛媛大学			
④ティーチング・ポートフォリオ更新ワークショップ					
・SPODフォーラム2012プログラム	平成24年8月22日	愛媛大学	5	済	
⑤教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショッ	平成25年3月中	愛媛大学			
⑥組織開発に関する共同研究事業					
⑦その他各種FDプログラムの実施	※	各加盟校	※		※別添参照
⑧FDプログラムの開発					
2. SD事業					
①講師養成プログラム					
・第1回	平成24年5月18日	愛媛大学	11	済	
・第2回	平成25年2月中	愛媛大学			
②大学人・社会人としての基礎力養成プログラム					
・レベルⅠ	平成24年10月17日～19日	愛媛大学			
・レベルⅡ	①平成24年9月13日～14日	愛媛大学	40	済	
	②平成24年11月19日～20日	愛媛大学			
・レベルⅢ	平成24年6月7日～8日	愛媛大学	26	済	
③学務系職員養成プログラム（レベルⅡ）	平成24年7月12日～13日	愛媛大学	22	済	
④次世代リーダー養成プログラム					
・第1回	平成24年6月21日～23日	愛媛大学 松山大学	18	済	
・第2回	平成24年7月19日～21日	徳島大学 四国大学	17	済	
・第3回	平成24年11月15日～16日	高松テルサ			
・第4回	平成25年1月24日～26日	高知大学 高知工科大学			
⑤高等教育トップリーダーセミナー	平成24年8月23日	徳島大学	47	済	SPODフォーラム2012プログラム
⑥スタッフ・ポートフォリオの開発	平成24年8月24日	徳島大学	21	済	SPODフォーラム2012プログラム
⑦その他各種SDプログラムの実施	※	各加盟校	※		※別添参照
⑧SDプログラムの開発					
3. SPODフォーラム2012	平成24年8月22日～24日	徳島大学	496	済	
4. SPOD共通事業	※	各加盟校	※		※別添参照
5. SPOD運営関係					
①　ネットワーク総会	平成25年3月中下旬　開催予定	愛媛大学			
②　ネットワークコア運営協議会					
・第1回（遠隔）	平成24年4月24日	各コア校	38	済	
・第2回（遠隔）	平成24年5月22日	各コア校	32	済	
・第3回（遠隔）	平成24年6月11日	各コア校	31	済	
・第4回	平成24年7月31日	愛媛大学	26	済	
・第5回（遠隔）	平成24年10月2日	各コア校			
・第6回（遠隔）	平成24年11月13日	各コア校			
・第7回	平成24年12月中下旬　開催予定	愛媛大学			
・第8回（遠隔）	平成25年1月29日	各コア校			
・第9回	平成25年3月上旬　開催予定	愛媛大学			
③　事業評価委員会	平成25年3月上中旬　開催予定	愛媛大学			
④　監査	平成25年3月上中旬　開催予定	愛媛大学			
⑤　その他					
(i)　FD／SD分科会	平成25年3月中下旬　開催予定				ネットワーク総会と同日開催
(ii) SPOD加盟校県内会議					
・徳島県内（随時開催）	第1回　平成24年5月10日	徳島大学	13	済	
	第2回　平成24年9月27日	徳島大学	13	済	
・香川県内（随時開催）			－		
・愛媛県内（随時開催）	第1回　平成24年7月11日	愛媛大学	33	済	
	第2回　平成25年2月開催予定	愛媛大学			
・高知県内（随時開催）			－		

資料4－2

平成24年度SPOD研修プログラム実施状況一覧

（中間報告）
平成24年9月28日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
4月						
4月3日（火）	学生を眠らせない講義法のコツ	愛媛大学	FD/SD	12	17	29
4月3日（火）	教室の雰囲気を変えるクラスルーム・コントロール術	愛媛大学	FD	11	13	24
4月4日（水）	動機を高める第1回目の授業づくり	愛媛大学	FD/SD	13	12	25
4月4日（水）	学生の能力を高める評価の方法	愛媛大学	FD	12	8	20
4月27日（金）	マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	徳島工業短期大学	FD	19	－	19
5月						
5月8日（火）	クリッカーで教育・研究が変わる！	香川大学	FD	5	－	5
5月18日（金）	講師養成研修	愛媛大学	SD	11	－	11
5月18日（金）	第1回FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD	30	－	30
6月						
6月7日（木）～8日（金）	大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅢ）	愛媛大学	SD	26	－	26
6月9日（土）～10日（日）	FDファシリテーター（FD担当者）養成研修	徳島大学	FDer	27	－	27
6月12日（火）	高専生を元気にする学生指導法のコツ	新居浜工業高等専門学校	FD	37	－	37
6月15日（金）	効果的なグループワークの技法	徳島大学	FD	22	25	47
6月15日（金）	ティーチング・ポートフォリオ入門－教育実践のリフレクション－	弓削商船高等専門学校	FD	13	－	13
6月21日（木）～23日（土）	次世代リーダー養成プログラム（第1回）	愛媛大学	SD	18	－	18
6月12日（火）	メンタルヘルス研修	愛媛大学	FD/SD	31	－	31
7月						
7月7日（土）～8日（日）	第18回愛媛大学授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	23	－	23
7月12日（木）～13日（金）	学務系職員養成プログラム研修（レベルⅡ）	愛媛大学	SD	22	－	22
7月13日（金）	大学職員のための企画力養成講座	鳴門教育大学	SD	25	－	25
7月19日（木）～21日（土）	次世代リーダー養成プログラム（第2回）	徳島大学・四国大学	SD	17	－	17
7月23日（月）	大学職員のための企画力養成講座	高知大学	SD	22	－	22
7月25日（水）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高知工科大学	FD/SD	22	－	22
8月						
8月2日（木）	高専生を元気にする学生指導法のコツ	香川高等専門学校	FD	17	－	17
8月10日（金）	スタッフポート・ポートフォリオ入門－職員と大学が共に輝くために－	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	SD	30	－	30
8月21日（火）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	香川県立保健医療大学	FD/SD	34	－	34
8月22日（水）	グラフィック・シラバスの作成方法	愛媛大学	FD	26	－	26
8月23日（木）	大人数講義法の基本	愛媛大学	FD	31	－	31
8月23日（木）	高等教育トップリーダーセミナー	香川大学	FD	47	－	47
8月24日（金）	学習評価をどう測定し，活用するか？	愛媛大学	FD/SD	38	－	38
8月28日（火）	動機を高め記憶に残る講義法－動機と記憶の理論－	愛媛大学	SD	15	－	15
8月31日（金）	講義のための話し方入門	愛媛大学	FD	15	－	15
8月31日（金）～9月1日（土）	教育力開発基礎プログラム	徳島大学	FD/SD	11	－	11

平成24年度SPOD研修プログラム実施状況一覧

（中間報告）
平成24年9月28日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
9月						
9月3日（月）	ルーブリック評価入門―ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ―	愛媛大学	FD/SD	6	35	41
9月3日（月）～4日（火）	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD	13	－	13
9月4日（火）	Adobe Premiereを使った動画教材作成法	愛媛大学	FD/SD	9	－	9
9月5日（水）～9月6日（木）	第19回愛媛大学授業デザインワークショップ	愛媛大学	FD	13	－	13
9月6日（木）	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン －考え方と進め方 －	高知大学	FD	0	－	0
9月7日（金）	障がい学生に対応した授業方法入門編	愛媛大学	FD/SD	7	－	7
9月7日（金）	パワーポイント2010基本技・便利技	愛媛大学	FD/SD	26	－	26
9月7日（金）	Eラーニング入門	愛媛大学	FD	5	－	5
9月7日（金）	自習を助ける教材を創る・発信するためのPowerPoint＆Moodle入門	高知大学	FD	4	－	4
9月11日(火)	大人数講義法の基本（遠隔配信プログラム）	愛媛大学	FD/SD	0	12	12
9月12日（水）	成績評価とフィードバック －評価の原則からルーブリック評価まで －	高知大学	FD	2	32	34
9月12日（水）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高松大学・高松短期大学	FD/SD	66	－	66
9月12日（水）	授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	高知県立大学・高知短期大学	FD	17	－	17
9月12日(水)～14日（金）	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	阿南工業高等専門学校	FD	9	－	9
9月13日（木）	ルーブリック評価入門―ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ―	愛媛大学	FD/SD	4	15	19
9月13日（木）～14日（金）	大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）	愛媛大学	SD	40	－	40
9月14日（金）	マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	41	－	41
9月18日（火）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	高知学園短期大学	FD/SD	42	－	42
9月18日（火）	教育の質保証とは何か－スタンダード設定からアセスメントまで－	環太平洋大学短期大学部	FD	19	－	19
9月19日（水）	授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	四国大学・四国大学短期大学部	FD	91	－	91
9月20日（木）～21日（金）	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD	12	－	12
9月21日（金）	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法−教員も学生も楽しい授業にするために−	今治明徳短期大学	FD	17	－	17
9月21日（金）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	愛媛大学	FD/SD	15	－	15
9月21日（金）	高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	FD/SD	20	－	20
9月22日（土）～23日（日）	教える仕事に就きたい大学院生のためのワークショップ	愛媛大学	FD*	14	－	14
9月24日（月）	高専生を元気にする学生指導法のコツ	高知工業高等専門学校	FD/SD	19	－	19
9月25日（火）	大人数講義を魅力的にするテクニック	香川大学	FD	7	－	7
9月25日(火)～26日（水）	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ＜西四国対象＞	愛媛大学	FD	7	－	7
10月						
10月17日（水）～19日（金）	大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）	愛媛大学	SD			
11月						
11月13日（火）	初年次教育の構成と実践：カスタマイズをどのようにするか	香川大学	FD			
11月15日（木）～16日（金）	次世代リーダー養成プログラム（第3回）	香川大学	SD			
11月17日（土）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	香川短期大学	FD/SD			
11月19日（月）～20日（火）	大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）	愛媛大学	SD			
11月20日（火）	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法−教員も学生も楽しい授業にするために−	香川大学	FD			
11月27日（火）	教育の質保証とIR（インスティテューショナル・リサーチ）	阿南工業高等専門学校	FD			
11月29日（木）	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD			
11月29日（木）	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD			
11月30日（金）	第3回FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD			

平成24年度SPOD研修プログラム実施状況一覧

（中間報告）
平成24年9月28日現在

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
12月						
12月6日（木）	学生の参加を促す授業方法	香川大学	FD			
12月21日（金）	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	愛媛県立医療技術大学	FD/SD			
12月21日（金）～23日（土）	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD			
12月中旬	人権啓発研修	愛媛大学	FD/SD			
12月26日（水）	大学教育カンファレンスin徳島	徳島大学	FD/SD			
1月						
1月24日（木）～26日（土）	次世代リーダー養成プログラム（第4回）	高知大学・高知工科大学	SD			
1月中旬	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD			
1月30日（水）	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	高知大学	FD			
2月						
2月12日（火）～13日（水）	ファシリテーション力養成道場	高知大学	FD*			
2月中旬	講師養成研修	愛媛大学	SD			
2月中	大人数講義を魅力的にするテクニック	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD			
3月						
3月7日（木）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方「レポートの書き方」の教え方	香川大学	FD			
3月7日（木）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方「プレゼンテーションの方法」の教え方	香川大学	FD			
3月8日（金）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方－「「日本語技法」の教え方①」－	香川大学	FD			
3月8日（金）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方－「「日本語技法」の教え方②」－	香川大学	FD			
3月11日（月）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方－「「情報整理の方法」の教え方」－	香川大学	FD			
3月11日（月）	大学入門ゼミ・共通コンテンツの教え方－協同学習の基本（入門編）－	香川大学	FD			
3月21日（水）	アクティブラーニング －学生参加型授業のつくり方－	高知大学	FD			
3月26日（火）	初年次科目のためのグループワークの技法	高知大学	FD			
3月27日（水）	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門	高知大学	FD			
3月中	ティーチング・ポートフォリオ開発ワークショップ＜東四国対象＞	徳島大学	FD			
3月中	高専ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	阿南工業高等専門学校	FD			
3月中	教育系競争的資金獲得のための申請書作成ワークショップ	愛媛大学	FD/SD			
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD*/SD			
未定						
未定	FD・SDセミナー	徳島大学	FD/SD			
未定	マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD/SD			
未定	FD・SDを効果的に進める組織づくり－事例紹介とお悩み相談－	四国学院大学	FD/SD			
未定	FD・SDを効果的に進める組織づくり－事例紹介とお悩み相談－	松山大学・松山短期大学	FD/SD			
合計				1207	169	1376

※FD*：教員対象（学生・大学院生も参加可能）

日程	プログラム名	主催大学	内容	受講者	遠隔	計
8月22日（水）～24日（金）	SPODフォーラム2012	徳島大学	FD/SD	1432	－	1432

SPOD加盟校内講師派遣プログラム実施状況一覧

資料4－3

（中間報告）
平成24年9月28日現在

	大学等名	区分	プログラム名	開催日	参加者数	担当講師		備考（実施状況）	
徳島	徳島大学	FD	効果的なグループワークの技法	6月15日（金）	47	高知大学	俣野	済	（内25人遠隔）
	鳴門教育大学	SD	大学職員のための企画力養成講座	7月13日（金）	25	愛媛大学	秦・阿部	済	
	四国大学・四国大学短期大学部	SD	授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	9月19日（水）	91	高知大学	塩崎	済	
	徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	9月14日（金）	41	徳島大学	川野	済	
	徳島工業短期大学	FD	マンネリ化しない公開授業の秘訣－公開授業の効果的実施方法－	4月27日（金）	19	徳島大学	川野	済	
	阿南工業高等専門学校	FD	教育の質保証とIR（インスティテューショナル・リサーチ）	11月27日（火）		愛媛大学	山田		
香川	香川大学	FD	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法 ―教員も学生も楽しい授業にするために―	11月20日（火）		徳島大学	香川		
	香川県立保健医療大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	8月21日（火）	34	香川大学	佐藤	済	
	四国学院大学	FD・SD	FD・SDを効果的に進める組織づくり－事例紹介とお悩み相談－	－	－	香川大学			
	高松大学・高松短期大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月12日（水）	66	香川大学	佐藤	済	
	香川短期大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	11月17日（土）		香川大学	葛城		
	香川高等専門学校	FD	高専生を元気にする学生指導法のコツ	8月2日（木）	17	阿南高専	坪井	済	
愛媛	愛媛大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月21日（金）	15	徳島大学	吉田	済	
	愛媛県立医療技術大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	12月21日（金）		愛媛大学	秦		
	聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD	大人数講義を魅力的にするテクニック	2月開催予定		香川大学	葛城		
	松山大学・松山短期大学	FD・SD	FD・SDを効果的に進める組織づくり－事例紹介とお悩み相談－	－	－	愛媛大学			
	松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	SD	スタッフポート・ポートフォリオ入門－職員と大学が共に輝くために－	8月10日（金）	30	愛媛大学	阿部・秋谷・上甲	済	
	今治明徳短期大学	FD	グループ学習を効果的に進めるための基本的な考え方とその方法 ―教員も学生も楽しい授業にするために―	9月21日（金）	17	徳島大学	香川	済	
	環太平洋大学短期大学部	FD	教育の質保証とは何か－スタンダード設定からアセスメントまで－	9月18日（火）	19	愛媛大学	山田	済	
	新居浜工業高等専門学校	FD	高専生を元気にする学生指導法のコツ	6月12日（火）	37	阿南高専	坪井	済	
	弓削商船高等専門学校	FD	ティーチング・ポートフォリオ入門－教育実践のリフレクション－	6月15日（金）	13	愛媛大学	佐藤	済	
高知	高知大学	SD	大学職員のための企画力養成講座	7月23日（月）	22	愛媛大学	秦	済	
	高知県立大学・高知短期大学	FD	授業アンケートを見直しませんか？－アンケートの効果的実施と活用方法－	9月12日（水）	17	高知大学	塩崎	済	
	高知工科大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	7月25日（水）	22	高知大学	立川	済	
	高知学園短期大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ	9月18日（火）	42	高知大学	塩崎	済	
	高知工業高等専門学校	FD	高専生を元気にする学生指導法のコツ	9月24日（月）	19	阿南高専	坪井	済	

平成２４年度第１回四国地区大学教職員能力開発ネットワークＦＤ専門部会議事概要

１　日　時　平成２４年７月３１日（火）１３：３０～１５：３０

２　場　所　愛媛大学　法文学部本館２階小会議室

３　出席者　徳島大学 吉田助教

香川大学 葛城准教授

高知大学 塩崎教授，立川准教授，俣野講師

愛媛大学 佐藤准教授，山田准教授，神教育企画課長，

陪席者　愛媛大学 大竹助教，山内教育企画課員，岸岡教育企画課員，渡部教育企画課員

４　議　題

（１）正副部会長の選出について

事務局から，資料１－１～２に基づき，ＦＤ専門部会要項第４条より，正副部会長を選出する必要があることついて説明があり，部会長に愛媛大学の佐藤准教授を推薦し，了承された。続いて，部会長から，副部会長の選出について，ＦＤ専門部会要項第４条第４項より，部会長の所属校を除くコア校から部会長が指名することについて説明があり，香川大学の葛城准教授に依頼し，了承された。

（２）各校の今年度のＦＤ活動やその課題について

各コア校から，今年度のＦＤ活動の状況や課題，特徴的な取組の紹介等について報告があり，意見交換が行われた。

（３）新任教員研修について

部会長から，資料２－１～５に基づき，新任教員研修のコア校間での履修証明制度について提案があった。現行の研修のみで履修証明を行うか，現行の研修に授業コンサルテーションやティーチング・ポートフォリオの作成等も追加して履修証明を行うか，意見交換が行われた。今後は，特定のＦＤプログラムの受講など，履修証明にあたり追加の可能性がある事項を抽出し，検討することとなった。

（４）調査・研究プロジェクトについて

愛媛大学の山田准教授から，資料３－１～２に基づき，２０１２年度の「調査・研究プロジェクト」の実施について説明があり，意見交換が行われた。実施にあたっては，全体統括を愛媛大学の山田准教授が担当し，各コア校の窓口担当者を通じて，調査項目や調査対象校の選定，その他必要と思われる事項の検討を行うことが了承された。

平成２４年度ＳＰＯＤネットワークコア運営協議会ＳＤ専門部会(第１回) 議事概要

日　時：平成２４年７月３１日（火）１４：００～１５：３０
場　所：法文学部本館２階　中会議室
出席者：徳島大学　坂東学務部教育支援課長
　　香川大学　岡本給与福利グループリーダー,篠原給与福利グループチーフ
　　高知大学　中澤人事課員
　　愛媛大学　秦教授,阿部特任助教,米澤教育学生支援部長,吉田人事課長
陪席者：高知大学　有澤学務課総合教育センター事務係長
　　愛媛大学　秋谷人事副課長,長野教育企画チームリーダー,戸田教育企画課員
　　神谷人事課員，川井人事課員

議題等：議事に先立ち，平成２４年度第１回開催に当たりＳＰＯＤネットワークコア運営協議会ＳＤ専門部会構成員の自己紹介を行った。

１．正副部会長の選出について

吉田委員から、資料1－1～2に基づき、SD専門部会事項第4条より、正副部会長を選出する必要があることについて説明があり、部会長に愛媛大学の秦教授を推薦し，了承された。続いて，秦部会長から，副部会長の選出について，SD専門部会要項第4条第4項目より，部会長の所属校を除くコア校から，部会長が指名することについて説明があり，徳島大学の坂東委員が推薦され，了承された。

２．平成２４年度のＳＰＯＤ－ＳＤプログラムの実施予定について

吉田委員から，資料２に基づき，平成２４年度の研修予定について説明があり，各コア校で実施の際には協力していただくよう依頼があった。

米澤委員より，私学の方より研修の対象者について，研修レベルⅠ～Ⅲを役職でレベルを分けるだけではなく，経験年数等も考慮したものにしてほしいと要望があったとの説明があった。今後は，実施要項に対象者について経験年数等も記載させていただくことを検討していくとの説明があり了承された。

また，学務系職員養成プログラム（レベルⅠ～Ⅲ）について，現在，学務系職員養成プログラム研修（レベルⅠとⅡ）については，受講対象者が多いため，毎年開催できるよう実施に向けて取り組んでいくとの説明があった。

３．次世代リーダー養成プログラムについて

（1） 吉田委員より，資料3に基づき，次世代リーダー養成プログラムの名称変更について説明があり，名称を変更することについて了承された。

当初は，「次世代リーダー養成‘研修’」の名称を「次世代リーダー養成‘ゼミ’」へ変更することについて話し合いが行われていたが，出席者より，「次世代リーダー養成‘スクール’」等，他の名称の提案もあったため，秦部会長より，今後SD専門部会員と協議し名称を決定させていただくとの説明があった。

（2）秦部会長より，南大阪コンソーシアムより，今年度，11/15～11/16 の香川県で行われる次世代リーダー養成研修（第3回）へ出席される方がいる予定であることの説明があった。

尚，来年度より，次世代リーダー養成研修について，SPOD内にて受講定員に満たない場合は，南大阪コンソーシアムの方が受講される可能性があることの説明があった。

４．ＳＤ分科会での意見について

事務局の川井から資料4に基づき，平成23年度SD分科会での意見に対する対応策について説明があった。

５．その他

（1）吉田委員から資料5－1～2に基づき，SPOD－SDCについて，阿部特任助教がその基準を満たしており，この後のコア運営協議会において推薦する旨説明があり，了承された。

（2）秦部会長から資料4に基づき，SPOD事業評価委員からの意見について説明を行い，対応策として，次世代リーダー養成研修（第3回）にて，次世代リーダー養成研修生と南大阪コンソーシアムの受講生で‘大学職員になろうキャンペーン’についてワークショップが行われる予定であるとの説明があった。

（3）SPODチャンネルについて，出席者との話し合いにより，秦部会長より1回を20分～30分，1ヶ月に1回程度配信していくことを検討するとの説明があった。

平成２４年度大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）
実 施 要 項

１．目　的

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することを目的とする。

２．内　容

大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅠ）のうち，５つの研修科目を実施する。

・コミュニケーション入門
・ビジネスマナー入門
・プレゼンテーション入門
・職員キャリア形成入門
・リーダーシップ入門

３．対象者

係員相当級の職員

４．期　間

平成２４年１０月１７日（水）～１０月１９日（金）

５．場　所

愛媛大学交友会館　２階サロン

６．日　程

別紙「研修日程表」のとおり

７．担当講師

愛媛大学	教育・学生支援機構教育企画室	助教	大竹奈津子
愛媛大学	教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	阿部　光伸
愛媛大学	教育学生支援部	部長	米澤　慎二　他

８．受講定員

３０名

９．受講証明書

研修を修了した者には受講証明書を交付する。

１０．主　催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ＳＰＯＤ），愛媛大学

平成24年度大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修日程表

研修会場：愛媛大学交友会館2階サロン

	9:00	10:30	12:00	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	16:00	17:00	17:15	17:30	18:30
第1日目 10月17日 （水）				受付	開講式・オリエンテーション	【コミュニケーション入門】 1 コミュニケーションの基本 2 「きく」の意味 3 「聴く」スキル＝「傾聴力」のポイント 4 「訊く」スキル＝「質問力」のポイント 【愛媛大学 久保 秀二，兒玉 直子 】							懇親会
第2日目 10月18日 （木）	【ビジネスマナー入門 1 】 1 ビジネス文書とは ～基礎知識 2 ビジネス文書作成時のポイント 3 文書作成時のポイント ～構造編 【聖カタリナ大学 玉岡 兼治 】		【ビジネスマナー入門 2 】 1 ビジネスマナーの基本 2 来客対応のマナー 【徳島文理大学 藤巻 晃 】	休憩	【ビジネスマナー入門 2 】 3 電話対応のマナー 【徳島文理大学 藤巻 晃 】			【プレゼンテーション入門】 1 プレゼンテーションの前に 2 プレゼンテーションの基礎 3 話す内容を検討する 4 「話すスキル」 5 総合演習 【愛媛大学 谷中 恭伸 】					
第3日目 10月19日 （金）	【職員キャリア形成入門】 1. 今まで振り返って多面的に考える自分の仕事 2. 自己を理解する 3. これからを考える ～次の2年，10年を主体的に生きる 4. 明日から働こう ～自分の目標設定とアクションプラン作成 【愛媛大学 大竹 奈津子，阿部 光伸】			休憩	【リーダーシップ入門】 1. リーダーとは 2. 立場を変えてつきつめて考える仕事 3. 指導・教育のポイント 4. 業務改善・目標管理 【愛媛大学 米澤 慎二，岸岡 洋介】						閉講式		

※研修スケジュールは，進行によって変更する場合があります。

平成２４年度第２回大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）
実施要項

１．目　的

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することを目的とする。

２．内　容

大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ）のうち，１つの研修科目を実施する。

・情報科学応用編「Access」

（Microsoft Office Access２０１０の活用方法を，パソコンを用いた演習を交えて習得します。）

３．対象者

ＯＡ事務中級職員（業務で多数の Excel 形式の表，データや帳票等を使用している方），職位不問

４．期　間

平成２４年１１月１９日（月）～１１月２０日（火）

５．場　所

愛媛大学総合情報メディアセンター２階（メディア演習室）

６．日　程

別紙「研修日程表」のとおり

７．担当講師

Ｗｉｎスクール　　黒田　伸仁　氏

Ｗｉｎスクール　　陣内　恭子　氏

８．受講定員

３０名

９．修了証書

研修を修了した者には修了証書を交付する。

１０．主　催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ＳＰＯＤ），愛媛大学

平成24年度第2回大学人，社会人としての基礎力養成プログラム研修（レベルⅡ） 日程表

研修会場：愛媛大学総合情報メディアセンター2階（メディア演習室）

講　　師：Winスクール　黒田　伸仁　氏

講　　師：Winスクール　陳内　恭子　氏

	8:30	9:00		12:00	13:00		17:00	18:30
11月19日（月）	受付	開講式・オリエンテーション	【情報科学応用編：Access】 1. データベースとテーブルを作成できる Accessの基礎知識／データベースの設計／テーブルの作成 フィールドの設定／データ型／オートナンバー型／データのインポート／ テーブルのフィルタ機能／リレーションシップについて 2. クエリによるデータの加工ができる クエリの概要／クエリのビュー／クエリの作成・利用について／ 並び替え／演算フィールド 3.フォームの作成と編集ができる フォームの概要／フォームの作成・利用／フォームウィザード／ コントロールのサイズ変更・移動／コントロールの書式設定	休憩	【情報科学応用編：Access】 4.クエリによるデータの抽出と集計ができる データの抽出／複合条件（AND・OR条件）／パラメータークエリ／ 比較演算子の利用／データの集計／Where条件の設定 5.レポートを作成できる レポートの概要／目的のレポートを作成する方法／ レポートウィザード／レポートの印刷／ 宛名ラベルウィザードを用いてのラベル作成 6.便利な機能1 オブジェクトの依存関係		懇親会

2

	9:00		12:00	13:00		17:00	17:15
11月20日（火）		【情報科学応用編：Access】 7. テーブルを活用し，リレーションシップの定義ができる テーブルの構成／フィールドプロパティの設定／ リレーションシップの作成／手動結合と自動結合／参照整合性の確認 8. クエリの活用と編集ができる 関数の利用／クエリの結合方法と集計について／ アクションクエリ（削除クエリ・追加クエリ・更新クエリ） 9. フォームの活用と編集ができる フォームコントロールの作成／コンボボックス／リストボックス／ タブオーダーの設定／メイン・サブフォームについて	休憩	【情報科学応用編：Access】 10. レポートの活用と編集ができる レポートのレイアウト変更／メイン・サブレポートの作成／ コントロールの書式設定／演算コントロール 11. マクロの作成と編集ができる マクロの基礎からマクロを利用したメインパネルを作成 12. 便利な機能2 ハイパーリンクの設定／条件付き書式／データのエクスポート／ データベースの最適化／バックアップ／セキュリティ	閉講式	

※研修スケジュールは，進行によって変更する場合があります。

次世代リーダー養成研修実施要項

１．目　的

将来、事務職員がトップリーダー（役員）や高等教育界のリーダーとして、大学等の経営を担うために必要な技能（実践力）・知識（理論）・態度を段階的に養成する。

２．達成目標

【知識（理論）】

大学等の経営に必要となる以下のことができる。

・高等教育に関する知識・理論（高等教育論、高等教育史、高等教育政策・行政、教育関係法、教育財政）を応用することができる。

・経営管理・戦略、財政管理・戦略、危機管理に関する知識・理論を応用することができる。

・リーダーシップに関する知識・理論を応用することができる。

【技能（実践力）】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要となる以下のことができる。

・情報収集・分析を行うことができる。

・企画策定・提案を行うことができる。

・判断を行うことができる。

・折衝・調整を行うことができる。

・後継者育成を行うことができる。

【態度】

・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。

・立場の違う構成員と協力して働くことができる。

・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。

・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

３．開催日（期間）

（第３回）　平成２４年１１月１５日（木）～１６日（金）（高松テルサ）

※次世代リーダー養成研修のプログラムは、２年間で２泊３日×８回実施する。

ただし、全体として必要時間数が確保される場合は、１泊２日とする場合がある。

※平成２４年度の開催予定

（第１回）　平成２４年　６月２１日（木）～２３日（土）（愛媛大学・松山大学）

（第２回）　平成２４年　７月１９日（木）～２１日（土）（徳島大学・四国大学）

（第４回）　平成２５年　１月２４日（木）～２６日（土）（高知大学・高知工科大学）

４．場　所

香川県高松市屋島西町２３６６－１　　高松テルサ

５．日　程

別紙「次世代リーダー養成研修（第３回）日程表」のとおり

６．対象者

以下の条件を満たす者。

・40 歳以下を原則とする。

・各機関の長が推薦する者。

・SPOD 加盟校の職員。

・スタッフ・ポートフォリオを作成し、受講申し込み時に提出できる者。

※スタッフ・ポートフォリオ様式、記入要領等を送付しますので、参照してください。

・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書（４００文字程度）で提出できる者。

・専門職養成プログラム（専門教育・共通教育）のレベルⅡを修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者。

※各機関においては受講者を選抜する段階で、面接等を実施してください。

※２年間で修了要件である全日程の９割以上出席可能な人を推薦してください。

７．募集人員

８名程度（各機関より複数受講を希望する場合は優先順位を付す）

８．講　師

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	教授	秦　敬治
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	助教	仲道雅輝
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	助教	大竹奈津子
愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室	特任助教	阿部光伸
愛媛大学教育学生支援部	部長	米澤愼二
愛媛大学総務部人事課	課長	吉田一恵　他

９．修了要件

・全日程の 9 割以上出席。

・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）をこなし、合格すること。

・最終口頭試問で合格すること。

・全てのプログラムについて A～Ｄの４段階で評価し、総合判定 A～Ｃの評価を得ること。

※修了後は、SPOD の SD 講師に登録すること。

１０．主　催

主担当：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（ＳＰＯＤ）事務局

協力校：高知大学

次世代リーダー養成研修（第３回）日程表(案)

日時：平成２４年１１月１５日（木）～１６日（金）

場所：高松テルサ

時間	（１日目）１１月１５日（木）		（２日目）１１月１６日（金）		時間
	２期生	３期生	２期生	３期生	
					9:00
			【第２研修室】 大学職員になろうキャンペーン・企画 講師：秦・仲道・大竹・阿部・米澤・吉田		
12:30					12:00
	受　付		昼食		
13:00					13:00
	開講式 アイスブレイク		【第２研修室】 危機管理論＆実践 講師 ： 阿部・米澤		
13:15	【第１研修室】 プロジェクト企画 進捗状況報告 講師：大竹・米澤	【第２・第３研修室】 ３期生による 課題プレゼンテーション 南大阪コンソーシアム受講生による 課題プレゼンテーション 講師：秦・仲道・阿部・吉田			
			【第２研修室】 リーダーシップ論＆実践Ⅱ 講師 ： 秦		14:30
15:30	ＳＰＯＤ-ＳＤプログラム 講師を目指して 講師：大竹・米澤				
			【第２研修室】 次世代リーダー養成研修（第３回）の振り返り 講師：秦・仲道・大竹・阿部・米澤・吉田		16:00
16:45					17:00
	休憩				
17:30	【第２研修室】 **講話** 講師：Denise Rollin				
19:00					
	休憩				
19:15	【第２研修室】 大学職員になろうキャンペーン・企画 講師：秦・仲道・大竹・阿部・米澤・吉田				
21:00					

（注）　都合により，時間を変更する場合があります。

教職員能力開発拠点（愛媛大学教育企画室）事業

FD・SDセミナー in 東北

2012年11月3日（土）～6日（火）

本事業は、愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室が、岩手大学大学教育総合センター、いわて高等教育コンソーシアム、福島大学総合教育研究センター、東北大学高等教育開発推進センターと連携して開催するFD・SDセミナーです。大学の教職員の皆さまへの能力開発支援が、東北地域全体の支援につながればという想いで本事業を企画させていただきました。内容も、教員、職員、学生の皆様に広くご参加いただけるよう、各主催校のニーズを踏まえた上で、学生支援、教職員能力開発、授業改善など多様なものをご用意させていただきました。全国の皆さまはもちろんのこと、とりわけ東北地域の大学関係者の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

11月3日（土）　10:00～17:00

SDコーディネーター（SDC）養成講座

講師：秦　敬治、米澤愼二、阿部光伸
対象：高等教育機関の教職員・管理職
会場：岩手大学　学生センターA棟　G22教室
定員：50名

11月5日（月）　15:00～17:00

学生を元気にする学生支援

講師：秦　敬治、佐藤浩章、山田剛史、泉谷道子、
　　阿部光伸、米澤愼二、仲道雅輝
対象：高等教育機関の教職員
会場：福島大学　総合教育研究センター棟1階　特別教室
定員：50名

11月6日（火）　15:00～17:00

授業デザインワークショップ入門

講師：佐藤浩章、山田剛史、大竹奈津子
対象：高等教育機関の教員
会場：岩手大学　学生センターB棟　多目的室
定員：40名

11月6日（火）　13:00～17:00

大学職員のための業務改善・企画力養成講座

講師：秦　敬治、仲道雅輝、阿部光伸
対象：高等教育機関の職員
会場：東北大学　マルチメディア教育研究棟　M401
定員：50名

※内容詳細ならびにお申込み方法はチラシの裏面をご覧ください。

【主催】　愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室
岩手大学大学教育総合センター
いわて高等教育コンソーシアム
福島大学総合教育研究センター
東北大学高等教育開発推進センター

【本件に関するお問い合わせ】
愛媛大学教育学生支援部教育企画課
TEL：089-927-9154
FAX：089-927-8100
Mail：kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp

案　内　図

岩手大学までのアクセス

○バス利用
（盛岡駅前バスターミナル11番のりば）
・岩手県交通バス　駅上田線
　乗車－「松園バスターミナル行き」
　下車－「岩手大学前」
・岩手県交通バス　駅桜台団地線
　乗車－「桜台団地行き」
　下車－「岩手大学前」

○タクシー利用
盛岡駅から約2km　約10分

○徒歩
盛岡駅から約25分

東北大学　川内北キャンパスまでのアクセス

仙台駅西口バスプールから
・**9番乗場から**　「青葉台」、「宮教大」、「動物公園循環（工学部経由）」に乗車
　→「東北大川内キャンパス・萩ホール前（正門前）」または
　「東北大学入試センター前」下車
・**16番乗場から**　「交通公園行(広瀬通経由)」に乗車
　→「川内郵便局前」下車

福島大学までのアクセス

電車【東京方面より】
「東京駅」より東北新幹線にて「福島駅」下車（所要時間約1時間40分）
「福島駅」よりJR東北本線　「金谷川駅」下車　徒歩5分
　福島駅から2つ目（所要時間約10分）
　郡山駅から8つ目（所要時間40分）

電車【仙台方面より】
「仙台駅」より東北新幹線にて「福島駅」下車（所要時間約30分）
「福島駅」よりJR東北本線　「金谷川駅」下車　徒歩5分
　福島駅から2つ目（所要時間約10分）
　郡山駅から8つ目（所要時間40分）

SDコーディネーター（SDC）養成講座

11月3日（土）　10:00～17:00　岩手大学

SDCとは、SDの実践的指導者のことです。本プログラムでは、スタッフ・ポートフォリオ（職員業績録）の有益性や導入例を説明し、大学職員マネジメントに与える影響や効果を学びます。また、SDを担当できる講師養成及び人材育成ビジョン構築支援の手法を実践的に学びます。受講に際しては、事前にスタッフ・ポートフォリオを作成していただきます。

学生を元気にする学生支援

11月5日（月）　15:00～17:00　福島大学

ピア・サポートや学生FD等、キャンパスライフや学習環境改善のための学生参画活動が近年盛んに行われています。参加学生の成長を促す継続的かつ自立的な活動の展開には、ニーズに応じた教職員の関与が不可欠です。本プログラムでは、学生とキャンパスが元気になる学生支援のあり方、大学全体の教育デザインにおける学生支援の位置づけについて実際の事例を通して学びます。

授業デザインワークショップ入門

11月6日（火）　15:00～17:00　岩手大学

授業のデザインには、シラバスや評価法など様々な要素が含まれています。本プログラムでは、学生の主体的な学びを引き出すための「多様な授業の手法（アクティブ・ラーニング等）」に関する内容を中心に、ワークショップスタイルで進めていきます。明日の授業に役立つように、具体的で実践的なスキルを持ち帰って下さい。

大学職員のための業務改善・企画力養成講座

11月6日（火）　13:00～17:00　東北大学

大学職員に必要な能力として「問題発見・解決能力」がよく取り上げられます。このプログラムは、大学改革、業務改善を行っていく上での、「問題発見・解決」と「企画提案」の手法を学ぶものです。このプログラムで身につけた手法や企画書を実際に大学に持ち帰り、上司や大学に提案できるよう、実践に即したスタイルで行います。

教職員能力開発拠点
（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室）

教育企画室は、教職員の能力開発のための研修講師の派遣や独自で開発したFD研修プログラムの提供、愛媛大学が代表校を務める四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）における教職協働など幅広い取組を行っています。平成22年3月23日に文部科学大臣から四国地域の中核拠点として教育関係共同利用拠点（拠点名称：教職員能力開発拠点）に認定されました。
http://web.opar.ehime-u.ac.jp/

お　申　し　込　み

下記の項目をご記入の上、10月22日（月）までにメールにてお送りください。
定員に到達次第締め切りますので、お早めにお申込みください。

メールアドレス　　kiyoiku@stu.ehime-u.ac.jp
メール件名＝FD・SDセミナー申込み（名前○○○○）
1．お名前（氏名・ふりがな）
2．ご所属（センター、学部等までご記入ください）
3．電話番号（緊急時に連絡がつくもの）
4．メールアドレス
5．ご住所もしくは勤務先所在地

※いただいた情報については、本講座用にしか用いることはございません。

取組名称：西日本から世界に翔たく異文化交流型リーダーシップ・プログラム

取組大学：愛媛大学（代表校）山口大学,香川大学,佐賀大学,京都外国語大学,京都文教大学,広島経済大学,松山大学,九州国際大学,京都外国語短期大学

本取組では、連携する大学群及び各機関と協働のうえ、「異文化交流型リーダーシップ・ネットワーク」を形成し、西日本の大学から世界で活躍し「学び続けるリーダー」を輩出する。

背景　学生に対するリーダーシップ力の醸成は、学士力、社会人基礎力、各大学ディプロマポリシーに限らず、経済界や地域社会からも期待が寄せられている。

現状　専門領域に偏らないスタンダード・リーダーシップを体系的に提供する大学はない。また、慣れ親しんだ仲間との環境下では、その関係を再構築しても、新たなリーダーシップの醸成には限界がある。

ポイント　学内・国内外に新たなフィールドを求め、「立場や世代間、文化背景の異なりを超えた」プログラムを拡充・拡大し、学生に提供する。また、本事業に関わる教職員の能力開発を持続的に行う。

プログラム（事業）の概要

学び続けるリーダー
世界で活躍できる人材へ

段階的異文化間交流

Advanced Programs
（多国間での異文化間研修）

地域や世界との連携

Global Programs
（2国間での異文化間研修）

経験を学びに変える省察

Basic Programs
（学内・国内での異文化間研修）

★

持続的なリーダーシップ養成（循環型）

持続的なリーダーシップ
養成のための教職員の能力開発

ステークホルダーの要請と関係

地域や国際社会で活躍できる人材育成

【地域からの要望】
◆ジョブ・シャドウィング
◆プロジェクト・マネジメント研修
◆地域リーダー養成セミナー
◆国際カンファレンス
などの共同実施

連携機関／関連大学コンソーシアム

松山市青年会議所、(財)えひめ女性財団、愛媛県企業経営者勉強会、アジア太平洋学生支援協会（APSSA）、大学教育学会、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

期待される成果

- 体系的・段階的・継続的な学生リーダーシップ養成プログラムの確立
- リーダーシップ評価指標の開発
- 経験を学びに変える省察手法の標準化
- 持続的なリーダーシップ養成のための教職員能力プログラムの確立
- リーダーシップを培うための多様なフィールドの提供

外国人講師の招へいについて

（１）講師名：DENISE ROLLIN（デニース・ローリン）

（２）所　属：ワシントン大学　人事部長

（３）講師紹介

2000年から現職（ワシントン大学人事部長)。それ以前も，ピュージェットサウンド大学で人事関係業務に就くなど,20年以上に渡り高等教育機関の人事関係業務を経験。ワシントン大学では，雇用問題，能力開発，社内の人間関係，パフォーマンス管理や給与，福利厚生，労使交渉など多岐にわたる専門知識を持ち，カウンセリングや助言，指導などを担当。

（４）資格等

・SPHR（Senior Professional in Human Resources）を取得
※人事における上級職員の資格
・「ASTD Training Certificate Program」を修了
※ASTDは人材訓練・開発・パフォーマンスに関する，世界第一の会員制組織
・「UW Human Resources Administration Certificate Program」を修了
・「UW Strategic Leadership Program」を修了
・「Conflict Resolution/Mediation Training Certificate Program」を修了

（５）訪問スケジュール（予定）

11月10日（土）　松山着
11月12日（月）　愛媛大学主催　ＳＤセミナー
11月14日（水）　他県（香川，徳島，高知）でのＳＤセミナー開催
11月15日（木）　次世代リーダー養成研修（高松テルサ（香川県高松市））
11月19日（月）　帰国予定

DENISE ROLLIN, SPHR

20611-E Bothell-Everett Hwy #180, Bothell,WA 98012
(425) 338-9493, drollin24@msn.com

2000-Present **Human Resources Director**

University of Washington Bothell (UWB), Bothell, WA

Serve as principle Human Resources professional providing administrative direction and counsel regarding HR management issues for all departments at the Bothell campus. Provide expertise and leadership, confidential advice, counseling and resources on a variety of topics including employment and hiring process, training and professional development, employee relations and recognition, performance management, compensation and job classification, leave administration, labor negotiations, disability accommodation, grievance and complaint resolution, corrective action, ethics rules, some benefits, other consulting and day-to-day operations. Interpret rules, policies, labor contracts, and laws for exempt and non-exempt staff positions.

Plan, organize and control all aspects of staff HR to provide best practices. Create, arrange and present various training programs. Proactively administer HR activities (such as the annual staff appreciation event, and wellness fair) ensuring a positive, team-oriented environment which inspires and motivates others to perform well. Ensure consistent, fair and equitable treatment of all employees and applicants. Maintain professionalism while balancing multiple priorities in an ever changing and growing environment.

1987-2000 **Human Resources Specialist**

University of Puget Sound, Tacoma, WA

Coordinated the hiring of University temporary clerical staff including monitoring performance, assigning appropriate salary rate, and processing time sheets. Handled the processing of employment applications, accurately maintained confidential HR database and paper documents, generated computer reports. Administered the performance evaluation program, interpreted policies, researched ways to cut budget spending, managed the front office, performed multiple tasks simultaneously while working as a member of the HR team. Organized and planned the annual Staff Recognition event attended by 400 staff and retirees, provided support for other campus events. Supervised, trained and created learning opportunities each quarter for four student staff and departmental temporary staff. Answered inquires, scheduled interviews and pre-employment testing, and conducted first day orientation for new staff.

1985-1987 **Schedule Coordinator, Registrar's Office**
University of Puget Sound, Tacoma, WA
Coordinated and scheduled all classroom assignments each quarter; registered students, compiled, audited and printed course schedule. Answered questions for students and faculty, helped supervise and train student staff.

Volunteer Activities

Advisory Committee, School Employees Credit Union of Washington, 2009-11
Critique resumes at various UW campus student events

Education

Bachelor's Degree, Communications
Lewis and Clark College, Portland, OR

Certifications and Awards

Senior Professional in Human Resources (SPHR) Certification
ASTD Training Certificate Program
Certified Trainer for Success Signals—Communication Styles
UW Human Resources Administration Certificate Program
UW Bothell Administrative Services STAR Award Recipient
Forty-hour UW Strategic Leadership Program Certificate
Forty-hour Conflict Resolution/Mediation Training Certificate

Denise Rollin's Teaching Experience

Presenter: "Engaging Staff in Creating Achievable Jobs (Staff Work Load Conversations)" CUPA-HR Western Region Conference, 2012

Co-instructor for 3-quarter Human Resources Certificate Program—Highline Community College, Des Moines, WA, 2011

Monthly UW Bothell New Staff Orientation, 2001 to the present

"Success Signals—Communication Styles" by Agreement Dynamics at UW Bothell, Tacoma, and Seattle campuses and to various outside groups, 2004 to present

"Performance Management-It's More Than the Annual Review"

"Interviewing and Hiring Process for Managers and Supervisors"

"Creating a Culture of Career Development"

"Safe Campus-Violence Prevention"

"Making Connections: Networking Activities"

"Resumes the UW Way"